

逆流せり。いざ平安參れ。

十一月三日 於綠ヶ丘球場、球審西田、壘審、中野、益野の三氏、平安先攻。

第一回(平安) 田中三振、富山右前安打に出で二盗せしも、大日方投手、得意のアンダースロー、上段より振りかぶつて投げ下すドロップ、横手投げのカーブ等自由自在に投げ敵の三番、四番の岩本、辻井を見事な三振に取る。スタンドの觀衆、しばし賞讃の聲を止めず。

(本校) 上杉(弟)三振、馬場第一球を左前安打し一壘に出づれども、若林の遊甌に封殺され、安居も遊甌に空し。(兩軍〇)

第二回(平安) 北川三壘、由利一壘、古川三振で三者凡退。

(彦中) 上杉(兄)、川村共に三振、太田遊甌で空し。(兩軍〇)

第三回(平安) 天川三振、雁瀨投甌、田中四球に出で二盗し、富山も四球で走者一、二壘によれども岩本打者の時富山、捕手の牽制球にかゝり一、二壘間に夾殺さる。

(彦中) 森田遊甌一壘惡投に一壘二進せんとし、一壘をバックアップせる捕手の二壘送球に二壘寸前に刺さる。大日方、上杉(弟)共に

三振。兩軍共に敵投手の好投に封せられ三回までに已に三振五ツを奪はる。(兩軍〇)

第四回(平安) 岩本第一球の近日の好球を強振すれば球は中堅の頭上を越し三壘打となり本校ベンチに襲はる。續く四番辻井と三番後のカールを引つかける。一壘後方のフライとなる。一壘手懸命にバックし、二壘手も球を追ひ、更に右翼手猛烈に前進すれども、噫呼、球は三者の間、然もラインの内に入り遂に岩本を生還せしめ此所に試合は同点の均衡を破る。大日方投手少しも動ぜず先づ北川を三振に、由利を二壘に、古川を三壘に討取る

(彦中) 一点を先取された本校は奪回せんとし必死に攻める。馬場遊撃強襲安打に出で續く若林の投手強襲安打に本校無死にして走者一、二壘の絶好のチャンスを描む然も安居〇一三絶体的有利なるカウントの時、馬場不用意に二壘を離れ、強肩且つ敏捷をもつて有名なる辻井捕手の矢の如き牽制球に刺さる。安居四球で又もや走者一、二壘となり、上杉(兄)ラストボールの後よく選んで四球を得、一死満塁となる。續く川村第一球をスクイズするや、何たる不運ぞ。三壘寄りの投手フライとなり若林三壘に重殺され本校情しくも

チャンスを逸す。(平安一、彦中〇)

第五回(平安) 天川三振、雁瀨左前安打、田中遊甌失で走者一、二壘となりしも、富山三振、岩本三飛。

(彦中) 太田中飛、森田三壘、大日方右飛。(兩軍〇)

第六回(平安) 辻井二壘、北川三振、由利捕邪飛で三者凡退。

(彦中) 上杉(弟)三壘、馬場三振、若林二飛で無爲。(兩軍)

第七回(平安) 古川三振、天川、雁瀨共に遊飛。

(彦中) 安居三振、上杉(兄)三壘、川村三振でラッキーセブンスも空しく試合は一對〇のまゝにて正に興奮のクライマックスとなる。(兩軍〇)

第八回(平安) 田中三飛、富山三壘、岩本遊甌で倒れ大日方投手の怪腕愈々凄じ。

(彦中) 太田中前右の安打を放ち、森田の投甌野選となり本校に再びチャンス到来す。大日方のバント一壘手猛烈に前進し直ちに三壘に投じ太田封殺さる。上杉(弟)二飛、馬場左飛で本校又もや機を逃す。(兩軍〇)

第九回(平安) 辻井右中間の擧越の三壘打

橋本投手となる。太田、森田、大日方共に三振。

(京師) 松尾右飛、中澤中飛、山鹿三振。(兩軍〇)

第三回(彦中) 上杉(弟)投甌、馬場左飛、若林三振で三者凡退。

(京師) 西浦投甌、谷垣、太田共に三振。此頃から雨愈々猛烈となり試合續行不能となり。審判合議の結果約三十分待ち、雨の衰ふるを待ちて再び試合續行。

第四回(彦中) 橋本快心の投球愈々物凄くアウトドロップは鋭いブレーキと共によくきまり、さしもの彦中の強打者安居、上杉(兄)三振、川村三邪飛で全く無爲。

(京師) 雨再び強く降り初めたりけれども一同愈々意氣旺盛守備につく。柴田左飛で一死後、橋本左前のフライ遊撃左翼兩者の間に落ち走者一壘に出る。續く瀧上、胸のあたりの近日の直球を得たりと強打すれば、何ぞたまらん。猛烈なライナーとなり、左翼手中堅手の好走も空しく直球のまゝ、塀を越える本壘打となり、橋本、瀧上相ついで生還し、京師遂に二点を先取す。松尾もテッドボールを得しが中澤投甌、山鹿遊飛。(彦中〇、京師二)

を打ちしも北川の投甌で三壘を飛び出し投手直ちに本壘に投じ辻井三、本壘間に刺され、由利の一壘で北川二進す。古川打者の時北川三盗を企てるを見て三壘手ベースに入るや、其隙を猛烈なライナーで抜き北川生還す。其間に古川二進し更に天川の一壘失で球が轉々ミライトに轉する間に本壘を衝かんとして右翼手の好送球に本壘に刺さる。

(彦中) 最後の回を迎へし我等は懸命に攻め先づ若林四球に出でしか安居の投甌で若林重殺され、上杉(兄)三壘で空しく、吾等に敵の軍門に降る。七百の健兒よ許せよ、此敗戦を。吾等は矢折れ、彈盡きるまで戦へり。嗚呼而も無念の涙を呑まんとは。ナンバー次の如し。

先	平	安
彦中	0 0 0 1 0 0 0 0 1	2
平	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0
安	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0

中山本井川利川瀨
田富岩辻北由古天雁
遊左一捕投二右中三
33 2 6 10 7 2 1 2
數点打振球壘策打
打得安三四盜失三
29 0 5 2 3 0 2 0

中 弟場林居兄村田田方
上馬若安上川太森大
彦 遊二中一左三捕右投
三壘打 岩本、辻井
重殺 北川一雁瀨
北川一由利一岩本

本校對京師師範
對平安戦に破れたりとは言へ自らの實力を知覺せし吾等一同は愈々希望に燃え京洛の古豪京師に挑戦せり。

十一月十日 於綠ヶ丘球場。折からの雨も若き戦士のファイティングスピリットに提つ能はず試合は雨の中を開始さる。

第一回(彦中) 上杉(弟)一ボールの後、高目の直球を左翼に大飛球をあげしも左翼手よくバックして塀際で取る。續く馬場四球に出で、若林の三前内野安打で走者一、二壘となる。安居の二壘で走者進壘し、上杉(兄)四球で満塁となり川村の一打期待されしか惜しくも三振。

(京師) 谷垣遊甌、太田左飛、柴田三壘一壘失、橋本左前安打に出でしも瀧上遊甌。

(兩軍〇)
第二回(彦中) (京師)この回より松尾一壘

第五回(彦中) 太田左飛、森田三振、大日方左翼線上、塀に達する絶好の二壘打を放つ。上杉(弟)三振。

(京師) 西浦一飛、谷垣遊捕、太田三遊間を抜けども、柴田中飛。(兩軍無爲)

第六回(彦中) 馬場第一球を遊撃越の安打せしも若林三飛後、安居の投備で封殺され、上杉(兄)死球で又も走者一、二壘のチャンスを得しか、川村三振。

(京師) 橋本三球の三振、瀧上捕邪飛、松尾遊飛で三者凡退。彦中の大日方投手も直球に混するに鋭いドロップをもつてしよく京師の打棒を封する。(兩軍無爲)

第七回(彦中) 太田遊飛、森田三振、大日方ネバツタ擧句四球、上杉(弟)三振。

(京師) 中澤投飛、山鹿三振、西浦投飛で無爲。

第八回(彦中) 馬場三捕失で一壘に生き、若林三振、安居の投備で馬場封殺され、上杉(兄)三振。本校全く日頃の打棒を制せらる。(京師) 谷垣三振、太田捕邪飛、柴田三捕。大日方投手又負けず劣らず敵を討取る。

第九回(彦中) ラストを迎へるや本校勇み立つ、川村三振、太田遊捕失で生きしも、森

若林スクエズバントをするや投手本壘に暴投し森田最初の一点を入れついで大日方も生還し、若林其間に二進す。上杉(弟)三振後安居左前安打を打ち直ちに二盗せしも上杉(兄)三振。本校よく二点を先取す。

(郡山○、彦中○) 第四回(郡山) 小川ストレートの四球、中村に送りれしが、小杉、福島共に三球で三振。觀衆大日方投手の怪腕に舌を巻く。

(彦中) 太中飛、川村三振、森田三振。中田投手又スピードを増し壯烈な投手戦となる。(兩軍○)

第五回(郡山) 來栖一捕、中垣遊捕、吉川中前安打、平井三飛で無爲。

(彦中) 大日方三振後、馬場三遊安打に由て二壘成り若林中飛、上杉(弟)の左越二壘打で馬場生還す。安居二捕、本校一点を加ふ。(郡山○、彦中○)

第六回(郡山) 中田三球の三振、小川二捕中村投備で凡退。

(彦中) 上杉(兄)投備後、太田遊捕、一壘悪投で二進すれば、川村右中間に三壘打を放ち太田生還し、森田の左前安打で川村生還。大日方の遊捕で森田封殺されしが、馬場の左翼

田、大日方共に三振で無爲。

嗚呼又しても刀祖の魚肉を逸せんとは。重なる不運に選手一同亡然たらざるを得ず。而れども過去の三試合において自己の實力を感知し、其他種々のよき實戦上の經驗を得る等益々猛練習を積めば甲子園に駒を進むる事の不可能にあらざるを知れり。

Table with 2 columns: 彦, 京師. Rows: 彦 (0 0 0 0 0 0 0 0), 京師 (0 0 0 2 0 0 0 0 A). Total 2A.

先 中 弟場林居兄村田田方 杉若安上川太森大 遊二中一左三捕右投

彦 32 0 3 17 1 0 2 1 0 數点打振球壘策打打 打得安三4盜失201

師 垣田本上尾澤鹿浦 橋松 谷太柴投瀧一中山西 遊中捕一右投三左二

二壘打 大日方 本壘打 瀧上

郡山中學遠征之記

郡山中學は嘗つては甲子園に出場せし名門にして經時の名バッテリー中田中垣今猶健在

越の二壘打で大日方還り、馬場は一擧三進せんとして左翼手からの送球に刺さる。(郡山○、彦中○)

第七回(郡山) 小杉三振、福島捕邪飛、來栖三振で無爲。

(彦中) 若林二捕、上杉(弟)三捕で二死後、安居三遊間安打に出で、上杉(兄)四球、太田三壘内野安打で二死ながらも満塁となりしが川村三飛で惜しくも点とならず。(兩軍○)

第八回(郡山) 中垣左飛、吉川遊捕で二死後、平井二壘前の内野安打に出でし後、中田センターに猛烈なライナーを打つ。中堅手太陽に妨げられて頭上を越され其のまま本壘打となり二点を入れしも小川中飛。

(彦中) 森田の右翼大飛球も右翼手よくとり、大日方三振、馬場三飛。(郡山二、彦中○) 第九回(郡山) 中村三捕、小杉遊捕、福島三振で凱歌吾に揚る。

Table with 2 columns: 郡山, 彦. Rows: 郡山 (0 0 0 0 0 0 0 2), 彦 (0 0 2 0 1 3 0 0 A). Total 0A.

先 郡山 垣田井田川村杉島橋 中吉平中小小福來

なれども過去の戦績に自信満々たる吾等は遙々郡山を打倒せんぞ遠征せり。

日時 十一月二十四日午後二時 球場 郡山中學グラウンド 郡山中學先攻にて開始。

第一回(郡山) 中垣ツナシンの後カーブを巧みに打ち中前安打に出で吉川の三前バンドは内野安打となり本校劈頭よりピンチに襲はる。而れどもサイン一同激勵し合つて平井三振、中田二飛、小川一飛で本校難なくピンチを逃れる。

(彦中) 馬場、若林共に三捕、上杉(弟)三振で三者凡退。(兩軍○) 第二回(郡山) 中村二捕、小杉遊捕一壘悪抗で一擧二進し福島も歌球に出でしが、來栖投備、中垣投備で後援無し。

(彦中) 安居一飛、上杉(兄)三振、太田三捕失、川村遊飛で空し。本校敵の中田投手の猛烈なスピードボールに壓せられ勝なり。(兩軍○)

第三回(郡山) 吉川左飛、平井三捕、中田右飛。(彦中) 森田遊捕失に出で捕逸で二壘に進み大日方四球、馬場の投前バントで走者進塁し

33 2 5 0 7 2 0 2 0 0 1 數点打打振死壘策打打打 打得安獲三4盜失2210

校 場林弟居兄田村田方 馬若上安太川太日 69 5 8 7 2 4 3 1

二壘打 上杉(弟、馬場) 三壘打 川村 本壘打 中田

冬季練習之記

縣下リリーグ戦の優勝、縣外試合の好成績は我等をして甲子園への希望を高からしめ、先輩有志諸賢の絶大なる御後援による我部空前の冬季合宿練習となり。即ち當地の悪天候を慮り夏季練習のコーチに當られし平樹氏の御靈力により甲子園に於ける慶應野球部の冬季練習に特別の計ひを以て全員参加を許され親しくその教を受け、且は春夏の甲子園に活躍せし各地中等學校の有名なる選手を伍して技の錬磨に精進することなれり。

前日校長先生の御訓辭を受けし我等は十二月廿四日終業式終了の後直に旅装を整へ多數の見送りを受けて彦根驛發、大阪にて又多數

彦中同窓生の方々に出遇へられ宿舍甲子園演
のスポーツマンホテルに入る。かくて翌廿五
日より一月七日迄ここに留り他日に備へて大
いに技を練り且大に掲ぐる各試合を行ひて實
戦の経験を豊富にせり。唯長期に亘る遠征の
疲労さ、不馴の寒中の試合との爲所期の目的
を達し得ざりしは深く遺憾とする所なり。

十二月廿七日 於甲子園球場。
對選拔軍（慶應の練習に参加せる中等學校
一流選手の混合チームなり）。
彼の技に對し我はチームワークを以て對戦第
一回早くも一点を入れしも四五回に各一点を
得られ、一に惜敗す。

一月三日 於綠ヶ丘球場。

對敵設置系

姫路に合宿練習せし彼を迎へての對戦なり。
我軍毎回チャンスに惠まれ終始敵を壓しつ、
も決定打を缺き十二回の補回戦の後、一の
引分に終る。

一月五日 於濱の宮球場

對姫路中學

烈風吹荒ふ中の對戦なり。敵は近來好調の
絶頂にある釣投手を擁して我打撃を封ぜ我は
全然日頃の調子出です6-0に敗る。

は金鼓高らかに夏の大会の前奏曲たる二府四
縣の大会に歩武堂々駒を進めんとするなり。

二府四縣大會滋賀豫選 出場之記

思へば一年の昔本大會に於て宿敵八高と覆
を争ひて無念にも敵に名をなさしめてより、
復讐の意氣も物凄く、ナイン一同練習に、
を積みて今年こそは眞紅の優勝旗を取らでは
おかしと誓ひき。而して其時は來れり。先づ
中部の雄八日市中學と戦ふ。

第一回戦 本校對八日市中學

日時 四月二十六日午前九時半より。

球場 本校グラウンド

西田、原、今井三氏審判の下に開始。

本校先攻

第一回（彦中）上杉（弟）三振、若林三捕後
太田左翼右の安打に出で直ちに二盗し更に捕
追で三壘に進み、安居も四球に出でしも上杉
（兄）三振で得点ならず。
（八中）松之一貫左の内野安打、木村二捕不
規律バントの失策で無死走者一、二壘となる
而れども本校少しも周章する事なく村田の三
捕を野手捕りて直ちにベースに入り松之を封

一月七日 於甲子園球場。

對神戸一中

彼の山村投手よく戦いしもバックに信を懸け
得ず、我は好守に彼を阻んで2-0を以て勝
つ。

一月十三日 於甲子園球場。

對育英商業

彼は昨夏甲子園に優勝を争ひ佐藤投手の健腕
と酒澤以下の健棒を以て鳴る近畿球界の旗頭
我は七日の歸彦後降雪に閉されて全然練習を
なさずしての對戦なり。練習の不足は忽ちエ
ラーの續出となり、自滅の形を以て7-0の
敗戦を喫す。

第二次京滋對抗試合之記

第一次對抗試合に不幸敗北を見し我等なり
この機を捕へて甲子園に練習せし我等の眞價
を世に問はん。一同奮ひ立てり。されど如何
せん、近年比類なき大雪はグラウンドを覆う
て解けず校友諸君の御芳志による除雪作業の
甲斐もなく、成等の練習は僅タトスパッティ
ンクの範圍を出でず、これを以て京格の大敵
に當るの心事や正に悲壯なるものありき。

二月十六日 寺田球場に於て先づ平安中學

殺し、八木の二捕で村田二壘に封殺され、足
者一、三壘となりしも一壘走者八木二盗成ら
ず、本校よくベンチを脱す。（兩軍0-0）

第二回（彦中）川村四球、森田三遊間安打
馬場左前安打で本校無死満塁の好機を掴めば
續く大日方左中門に猛烈な三壘打を打つて、
川村、森田馬場の三者續いて生還す。大日方
三壘に込込みしが、壘を離れて刺さる。續く
上杉（弟）三壘強襲安打に出で、若林打者の時
二、三壘を連盗し更に大膽不敵なる本盗を企
てて見事に成る。若林遊捕、太田遊捕失、安
居左前安打、上杉（兄）四球で二死ながら再び
満塁となりしも川村三振。此回本校五本の長
單打を集中しよく四点を入れる。

（八中）大橋三捕、三好三振、岩井遊捕で全
く無爲。（彦中四、八中0）

第三回（彦中）森田遊捕失に生き、馬場左
前に安打し兩者のダブルスチール成り更に敵
失により森田生還し、馬場三壘に達す。大日
方打者の時馬場投手の逆を衝き脱免の如く本
盗に成功し更に一点を加ふ。大日方左飛後、
上杉（弟）四球に出で二盗せしも若林、太田共
に左飛で後援なし。
（八中）黒川、西澤共に三振後、松之四球に

と對す。練習の不足は劈頭のエラーとなり、
一二回に各三点を得られ、その後の奮進突撃
も甲斐なく遂に7-0にて恨を呑む。されど
二月二十二日 同じく専田球場に京都商業
と對してはよく攻めよく防ぎて遂に5-0に
敵を降しぬ。翌二十三日は餘勢を驅つて京都
師範をも降さんす意氣なりしに惜しや夜成の
雨に中止となりて唯天を恨むるのみ。

かくて三月大毎の選拔銃衛には候補三十二
校中には入りしも遂に選に漏れ、我等の宿志
成らざりき。噫

新學期練習初之記

選拔大會出場の選に漏れし我等なり。期
る所は來るべき夏の大会なり。特に六名の五
年生はこの最後の殘されたる機會を掴まで置
くべきか、確き覺悟を極めたりき。されば校
庭に雪解け初むる三月半、學年末終了直ちに
猛練習に入れり。先輩植田、太田兩氏の献身
的努力は我等の魂を呼び生して烈々火を吐く
一打一打となりぬ。見よ、四月一日綠ヶ丘に
遠征して京都二商を2-0に京都三商を5-
0に撃破し、更に四月十六日彦根商業を本校
庭に迎へて12-3を以て降しぬ。今こそ我等

出で、木村右前に快打せしも右翼手の美技に
一壘に刺さる。（彦中二、八中0）

第四回（彦中）安居左飛後、上杉（兄）四球
に出で川村とのヒットアンドランは中堅右の
安打となり上杉（兄）駿足を利して三壘に達し
中堅手が三壘に投ずる間に川村も二壘を奪ふ
續く森田の遊撃強襲は野手よく捕り上杉（兄）
を本壘に刺す。其間に川村三進して馬場の左
前安打に生還す。再び森田馬場のダブルス
チール成つて走者之もや二、三壘となりしも
大日方遊捕で得点ならず。
（八中）村田三振、八木三捕、大橋中飛。
（彦中一、八中0）

第五回（彦中）上杉（弟）三捕、若林三振後
太田左翼深く安打し安居ストレットの四球に
出づるや兩者のダブルスチールなり、上杉（
兄）も四球で二死満塁となりしも川村の三捕
で上杉（兄）二壘に封殺される。

（八中）三好三振、若井三飛、黒川三振で太
日方投手全く敬陣を蹴弄す。（兩軍0-0）
第六回（彦中）森田三捕、馬場左飛で二死
となりしも、大日方二捕失に生き、更に上杉
（弟）の三捕を野手、大日方を封殺せんとして
二壘に悪投し走者夫々二、三壘を得る。續く

若林三遊間を抜き大日方、上杉(弟)生還す。太田アソドホールに出で、若林と太田とのダブルスチール成功して走者再び二、三壘の時安居の左翼前安打で若林、太田生還す。其間に安居二壘に達せしも上杉(兄)三壘に倒れる然れども本校此回二死後よりよく四点を入れ合計十一点をなり此回の裏敵に点を許さずんはコールドゲームならん。一同勇躍守備につく。

(八中)最後の攻撃も空しく吾大日方投手を攻落せしむ事能はずして三者何れも凡飛に退き、本校先づコールドゲームにて八中を破る

Table with 2 columns: 彦, 八中. Rows show runs, hits, errors.

先 彦 中 0 4 2 1 0 4 11 八中 0 0 0 0 0 0 0

中 八 之村田木橋好井川澤 松木村八大三若黒西 遊三投左右捕二中一

川(春)三飛、三橋三振で後援續かず。

(彦中)一死後、川村四球に出で直ちに二盗す、森田左飛で二死となりしも大日方中前に安打して川村生還す。大日方、投手暴投で二進、更に上杉(弟)の三壘右を抜き安打に三壘に達し、上杉(弟)二盗すればも、若林の遊間に空し。(長商〇、彦中一)

Table with 2 columns: 長商, 本校. Rows show runs, hits, errors.

第五回(長商)大橋三直、阪東、片岡共に三壘に倒れ本校よく五回のコールドゲームにて敵を除す。 側嶋城春橋橋東岡川 川東川 宮 北中投北三大阪片一 三遊二捕左中三右投 17 1 1 0 6 2 0 4 0 1 1 1 0 6 2 0 4 0 1

三壘打 大日方

第二回戦 本校對長濱商業

日時 四月二十六日午後二時半開始。

球場 彦中グラウンド

審判 原、光林、馬場三氏

午前中に八中を撃破せし我等は少しも疲勞の色なく長商ミダブルヘッドを行ふ。

長商先攻にて開始。

第一回(長濱)北川二捕、中嶋三飛、東城三振。

(彦中)上杉(弟)死球に出で若林のバントに二進し、太田の左中間を抜き二壘打に生還す。

安田四球、馬場死球で一死満塁となりや、上杉(兄)左翼頭上を抜き二壘打に太田、安居、馬場の三者堂々生還す。續く川村ストロートの四球に出で森田の遊間で川村二壘に封殺されしも大日方打者の時森田二盗して走者二、三壘となる。捕手の三壘争制球を三壘手後逸して其間に上杉(兄)ホトメインし森田三壘を得。大日方も四球に出で二壘を得る、上杉(弟)の三壘一壘先に森田大日方生還し、上杉(弟)一壘二進す。續く若林三壘を野手一壘に暴投して上杉(弟)生還し、若林二壘に進む。續く太田安居共に四球を得て二死満塁となり

しも馬場の左飛で漸く交代となる。而れども本校此回よく選球して合計十四人の打者を繰出し八点の大量得点をなす。

(長商〇、彦中八)

第二回(長商)北川(春)一捕、三橋三振後大橋遊間一壘失に生き一壘手の後逸する間に二進するや一壘手二壘に送球すれば二壘に入つた遊撃手、これを取らず球は遠く左中間を抜けて轉々とする間に大橋生還す。續く阪東三振。

(彦中)上杉(兄)遺捕失、川村投飛後上杉(兄)投手牽制球に刺され森田投飛。

(長商一、彦中〇)

第三回(長商)三者凡退。

(彦中)大日方四球に出づれば上杉(弟)三前セーフムバントに成功し若林ストロートの四球で無死満塁のチャンスを得。太田三遊間安打に大日方還り、安居打者の時太田投手牽制球に倒れ安、居三飛後、上杉(弟)本盜に成功し更に一点を加ふ。續く馬場三壘で止む。而れども本校今回更に二点を増し愛氣當るべからず。(長商〇、彦中二)

第四回(長商)中島三振後、東城、前進せる左翼手の頭上を抜き三壘打に出でしも、北

橋二、三壘にありしも塚本遊飛。

(彦中)同点にされし本校は如何にもしてリードせんもの、懸命に攻む。太田ワンストライク後の近目の球を満身の力をもつて振れば球は快音と共に猛烈、ライナーとなりつて左中間を抜き大本壘打となり観衆の聲援に迎へられて堂々生還す。本校再び一点をリードす。續く安居左飛後、上杉(兄)四球に出でし川村の三壘で重殺さる。(八商一、彦中一)

第四回(八商)三者簡單に凡退す。

(彦中)一死後、大日方四球に出でし若林の二壘で封殺され、上杉(弟)左飛で空し。

(兩軍〇)

第五回(八商)大日方投手に全く封せられ三者凡退す。

(彦中)馬場左飛後、太田左翼右の安打に出で、安居セーフテーパーを試みしも成らず一壘に刺さる、間に太田二壘を得る。而れども上杉(兄)三振で空し。(兩軍〇)

第六回(八商)伊藤中飛、長谷谷飛で二死後、塚本、安村共に中前安打し、両者のダブルスチール成りしも田中遊間。

(彦中)川村三壘一壘失に生き、森田投手強襲安打に無死走者一、二壘の好機を得しも、

準備勝戦 本校對八幡商業

日時 四月二十九日一時開始

球場 彦中グラウンド

審判 光林、安澤兩氏

嗚呼！吾途に恨み深き八商、組みり。思へば昨年彼の爲に榮ある優勝旗を逸せしにあらすや。爾來一年、臥薪嘗膽以て今日の復讐を誓ひし吾等得意氣衝天戰ひに臨みり。

第一日(八商)須田三壘、伊藤投捕、長谷四球に出でしも塚本遊間。

(彦中)上杉(弟)一、後の好球を打てば左翼越の本壘打となり本校先づ一点を先取り、續く馬場も四球を得しが太田の遊間で封殺され、安居三振、上杉(兄)中前安打、川村左前安打で二死ながらも満塁となり森田の一撃期待されしも惜しくも三壘。(八商〇、彦中一)

第二回(八商)三者凡退。

(彦中)大日方遊捕失に生き、若林左飛後、二盗し更に上杉(弟)の三壘で三進せしも馬場捕那飛で又もや好機を逸す。(兩軍〇)

第三回(八商)大庭三壘後、手塚遊撃越安打須田三壘失で走者一、二壘となり、續く伊藤右飛で二死となりしも長谷右翼線上に二壘打して手塚生還し一対一の同点となる。走者

しも馬場の左飛で漸く交代となる。而れども本校此回よく選球して合計十四人の打者を繰出し八点の大量得点をなす。

(長商〇、彦中八)

第二回(長商)北川(春)一捕、三橋三振後大橋遊間一壘失に生き一壘手の後逸する間に二進するや一壘手二壘に送球すれば二壘に入つた遊撃手、これを取らず球は遠く左中間を抜けて轉々とする間に大橋生還す。續く阪東三振。

(彦中)上杉(兄)遺捕失、川村投飛後上杉(兄)投手牽制球に刺され森田投飛。

(長商一、彦中〇)

第三回(長商)三者凡退。

(彦中)大日方四球に出づれば上杉(弟)三前セーフムバントに成功し若林ストロートの四球で無死満塁のチャンスを得。太田三遊間安打に大日方還り、安居打者の時太田投手牽制球に倒れ安、居三飛後、上杉(弟)本盜に成功し更に一点を加ふ。續く馬場三壘で止む。而れども本校今回更に二点を増し愛氣當るべからず。(長商〇、彦中二)

第四回(長商)中島三振後、東城、前進せる左翼手の頭上を抜き三壘打に出でしも、北

橋二、三壘にありしも塚本遊飛。

(彦中)同点にされし本校は如何にもしてリードせんもの、懸命に攻む。太田ワンストライク後の近目の球を満身の力をもつて振れば球は快音と共に猛烈、ライナーとなりつて左中間を抜き大本壘打となり観衆の聲援に迎へられて堂々生還す。本校再び一点をリードす。續く安居左飛後、上杉(兄)四球に出でし川村の三壘で重殺さる。(八商一、彦中一)

第四回(八商)三者簡單に凡退す。

(彦中)一死後、大日方四球に出でし若林の二壘で封殺され、上杉(弟)左飛で空し。

(兩軍〇)

第五回(八商)大日方投手に全く封せられ三者凡退す。

(彦中)馬場左飛後、太田左翼右の安打に出で、安居セーフテーパーを試みしも成らず一壘に刺さる、間に太田二壘を得る。而れども上杉(兄)三振で空し。(兩軍〇)

第六回(八商)伊藤中飛、長谷谷飛で二死後、塚本、安村共に中前安打し、両者のダブルスチール成りしも田中遊間。

(彦中)川村三壘一壘失に生き、森田投手強襲安打に無死走者一、二壘の好機を得しも、

森田捕手の牽制球に倒れ、大日方左飛若林二
 捕で惜しくも逸機す。(兩軍○)

第七回(八商)本校の塁陣容易に抜けす三
 者凡退に終る。

(彦中)三者凡退。(兩軍○)

第八回(八商)大日方投手よく敵打者を凡
 打に討取る。

(彦中)安居遊飛後、上杉(兄)よく選球して
 一壘に出でしも、川村の遊捕に封殺され、森
 田の三壘強打も野手の美技に終る。(兩軍○)

第九回(八商)愈々最後の回を迎ふるや一
 同陣を作り互に激勵し合つて勇躍守備につ
 く、先づ塚本左飛に倒れ、安村のキャッチャ
 ー後方のフライは捕手懸命に追ひかけ片手に
 て漸く捕へるの美技を演じ、田中の三捕で萬
 事休して此所に吾等は昨年の雪辱をするを得
 たり。本校、敵安村投手の緩球を打ちあぐみ
 し事即ち本日苦戦の原因ならん。
 メンバー次の如し

先	八商
本校	100100000000
	100100000000A
	2A

弟の二捕に封殺され、城弟又井川の遊捕に重
 殺さる。

(彦中)大日方右翼安打、若林遊飛、上杉(弟)の三捕に大日方封殺されしも、馬場死球を得て出塁するや上杉(弟)のダブルスチールなつて走者二、三壘となり三番安居の一打期待されしも中飛。(兩軍○)

第五回(大商)上坂中飛、中畑三振後、高井三壘右の安打に出でしも安藤二捕に空し。(彦中)太田中堅左の大三壘打を放ち川村の左前安打に生還、森田の二捕に川村三進し上杉(兄)打者の時川村よく三盗せしも、上杉(兄)三振大日方左飛。(大商○、彦中一)

第六回(大商)小門三振、中坊投捕、横山三捕。(彦中)若林投捕後、上杉(弟)三前セーフチバントは内野安打となり、直ちに二盗す、馬場三飛後、安居四球に出で兩者の重盗成功して夫々二、三壘の時捕手のパスボールで上杉(弟)生還し、安居三進す。太田も四球に出で二盗せしも川村左飛。(大商○、彦中一)

第七回(大商)城弟三振、井川左飛、上坂二捕に倒れ本校の堅壘容易に陥ちす。(彦中)森田三壘線上の猛烈な二壘打に出で

田藤谷本村中崎庭塚
 須伊長塚川田井大手
 5須伊長塚川田井大手

32 1 4 0 2 1 2 2 1 0
 29 2 6 1 4 6 1 1 0 2
 打得安儀三四盗失二壘

第場田居兄村田方林
 上馬太安上川森大若

二壘打 長谷
 本壘打 上杉(弟)、太田
 重殺 須田一伊藤

優勝戦 本校對大津商業
 日時 五月三日午後一時四十分開始。

球場 本校グラウンド
 審判 球審友宗、壘審光林、原、奥田。
 宿敵八商を倒し見事雪辱を遂げし吾等は、南部の新鋭大津商業と覇を争ふ事となり。この日、天高く晴れ全く無風絶好の野球日和なり。一同榮えある月桂冠を目前にして意氣いやが上に振ふ。

第一回(大商)小門二壘頭上を抜く二壘打に出でて最初より吾軍を脅かせしも、中坊二捕、其間に小門三壘を得し後、横山、城弟共

上杉(兄)、大日方共に三振後、若林の遊捕を遊撃手一壘に大暴投して森田二壘より一塁生還し、若林又二進す。續く上杉(弟)左前安打を放ちしも馬場中飛に後援續かず。

(大商○、彦中一)
 第八回 大商中畑三壘頭上の安打に出づるも續くP.H.稲岡、安藤共に三振、小門二捕に空し。

(彦中)安居投捕、太田左飛、川村左前安打に出で駿足を利して二、三壘を連盗して森田の遊撃右の安打に生還し上杉(兄)左飛に止みしも本校此回更に一点を加へ計十点 なる。

(大商○、彦中一)
 第九回(大商)大日方投手の膂益々凄く、中坊を三球の三振に、續く横山も三振に討取り、城弟の一打は投捕となり友宗球審のゲームセットの宣告も壯快に本校此所に大優勝旗を獲得す。

メンバー次の如し

先	大商
本校	0000000000
	1500011111A
	10A

に三振。

(彦中)上杉(弟)第一球を遊捕すれば野手落着を失つてセーフとなし更に捕逸で二壘に達し若林のバントで三進す。安居も上杉(弟)との間のスクイズは打者仕損ひしも上杉(弟)スタートよく本盗なりて最初の一点を擧ぐ。安居遊捕失に出づるも太田の投捕で重殺さる。

(大商○、彦中一)
 第二回(大商)井川三振、上坂遊捕一壘惡投に二進せしも中畑三振、高井投捕で空し。

(彦中)川村三捕一壘暴投に一舉二進す、森田遊撃強襲安打に出で直ちに二盗、上杉(兄)四球で無死満塁の時、大日方三遊間安打で川村生還し、若林の左前安打に森田、上杉(兄)生還す。上杉(弟)三邪飛に倒れ、馬場の三捕で大日方三壘に封殺されし後、安居中堅左に痛烈な三壘打を放つて若林、馬場を還す。太田遊捕に終りしも此回、本校よく打つて五点を入れ、彦中ファンをして狂喜せしむ。

(大商○、彦中五)
 第三回(大商)安藤中飛、小門遊捕、中坊捕邪飛。

(彦中)三者凡退。(兩軍○)
 第四回(大商)横山遊捕失に生きしも、城

大商 門坊山弟川坂畑井岡藤
 小中横城井上中高稲安

48612539997
 3103011003910
 數点打打振死壘策打打
 38 10 12 14 4 11 2 1 2
 打得安儀三四盗失二三壘

本校 弟場居田村田兄方林
 上馬安太川森上大若
 568243719
 二壘打 小門、森田
 三壘打 安居、太田
 重殺 城第一横山一中畑
 馬場一川村一森田

二府四縣大會出場之記

本校對平安中學
 日時 五月十日午前十時より
 球場 綠ヶ丘球場
 審判 梅田、石川、中野、辻
 縣下豫選に天晴れ覇者の貫祿を見せし吾等は晴の舞台の前に猛練習を重ねたり。四年生八名はその修學旅行を決然断念して連日の練習に加はり、以て晴の大會に備へたり。而るに何たる天の無情ぞ。吾力ミ頼みし至寶大日

方投手病に冒され出場不可能なる。一同唯
慨然惨然たるのみ。然れども吾等は吾國を
代表する選手なり。何ぞ一人の事故の爲に士
氣を挫折せんや。先づ投手には主將安居自ら
立ち、中堅には若冠が最も幾多の試合に經
験を有する門野を入れる。斯くして抽籤によ
り吾相手は京洛の強豪平安と決る。噫呼遂に宿
敵平安と組むか。吾、彼が爲に二たび敗れし
にあらずや。吾に第一殺手なくとも又何をか
恐らん。吾には赤き熱ゆる意氣あり。

一同必勝を誓ひて大津に向へり。

第一回(彦中)上杉(弟)よく選球して出で
馬場、安居三振後、太田右翼左を抜く。二壘打
を放ち走者二、三壘となる。川村打者の時上
杉大膽不敵にもホームスチールを行へ。京津
の名輔手辻井びつくり落球して上杉セーフ。
我強敵平安によく一点を先取す。此の間に太
田三進せしも川村の二壘に終る。

(平安)田中ツーストライク後三壘手左を抜
き雁瀬四球、辻井より後右前に安打を打ち
無死満塁となる。岩本左飛、北川三壘打し、
走者を一掃す。古川左飛、天川四球に出でし
も、由利遊飛。(本校1、平安3)

第二回(彦中)森田二壘安打に出で、門野

を加ふ。(彦中0、平安3)

第八回(彦中)上杉(兄)四球に出でしも上
杉(弟)の遊脩に封殺され、上杉弟又二盗成ら
ず、馬場三壘に例れて空し。

(平安)三者凡退。(兩軍0)

第九回(彦中)本校最後の攻撃も空しく、
安居投手ゴロ、太田二壘フライ、川村三振と
三者凡退に終る。

嗚呼諸君よ許せ此惨敗を！吾等は最後ま
で戦へり。而れども大日方投手無き吾投手陣
は其の弱点を曝露して自滅せり。安居、上杉
弟の兩投手の敵に與へたる四球實に十有八個
斯くては吾にいかん鏡き打棒ありとも爲す事
能はざるなり。此所に我等は第二投手の養成
の必要を感ず。

因に當日病を押してベンチにゐたりし大日
方君の心中や如何！

先	本校	10000300000	4
平	安	303061300A	16A

校
本
上馬安太川森門若上杉
5.16.5243897
1.

よく選べど三振す、若林投前野選に兩者生く
上杉(兄)左飛、上杉(弟)四球で二死ながらも
満塁となり馬場の一打期待されしも惜しくも
捕邪飛。

(平安)富山四球二盗し更に三盗せんとして
刺さる、田中四球で二盗せんとして刺さる、
雁瀬四球、辻井二壘。(兩軍0)

第三回(彦中)三者凡退。

(平安)岩本四球、北川も四球、古川の三壘
失て無死満塁となり天川の二壘で岩本生還走
者二、三壘となる。由利四球で又も満塁。
富山四球で北川押出され、田中の中飛に古川
還り、雁瀬四球に出すれど辻井二壘に終る。
我五つの四球を出しつくし投手の不出場に
苦しむ。(本校0、平安3)

第四回(彦中)森田右飛、門野四球に出で
しも若林の投脩に封殺される。上杉(兄)四球
上杉(弟)三遊間に安打せし時、若林二壘より
一擧ホームに突進し、おしくも寸前に殺さる
(平安)北川岩本四球に出でしも捕手の牽制
に死す。古川、天川四球に出でて一死満塁と
なるに及び、本校安居投手は三壘となり、上
杉(弟)投手になる、由利の投脩は岩本を本壘
に殺し、富山一壘に倒れ本校よく敵を零點に

喰ひむ。(兩軍0)

第五回(彦中)馬場左前安打、安居四球後
投手一壘に大暴投して馬場二壘より一擧生還
し、安居又三壘に達す。太田遊飛後、川村四
球に出で、森田の中前安打に安居生還し、更
に門野四球で一死満塁となる。若林遊飛に倒
れし後上杉(兄)四球で川村押出され敵との差
二点となりしも上杉(弟)三振。

(平安)田中四球に出で二盗後、雁瀬も四球
に出で辻井の二壘左の安打で無死満塁となる
岩本の三壘失に田中得点し、北川の中堅越の
二壘打に雁瀬、辻井還り、更に古川の三壘ゴ
ロで岩本本壘を突きて捕手の失策に生き、古
川三盗す。天川三振後、由利一壘線上に二壘
打を打ちて北川、古川を還す。更に富山三壘
右の安打せしも田中三振、雁瀬投脩に止む。
而れども敵よく吾弱点を衝きて六点を加へる
(彦中4、平安6)

第六回(彦中)太田四球に出でしのみ。
(平安)二死後、北川中堅右に三壘打し、古
川の左前安打に生還、天川野選に生き、由利
四球を得るも富山遊飛。(彦中0、平安1)
第七回(彦中)三者凡退に止む。
(平安)此回更に四球、安打等によりて三点

31467102410

數点打振死壘打打

36打得安三四盜失壘壘

16104185022

中瀬井本川川川下利山

田雁辻岩北古天山由富

6523198847

二壘打 太田、北川、由利

三壘打 北川(二本)

神戸遠征之記

平安中學に大敗せし我等は大いに奮起し且
つ大日方投手の病又全快せり。依て神戸に遠
征し兵庫の強豪瀧川中學と戦ふ。

日時 六月七日午後四時より

場所 神戸市民運動場

審判 前川、大場、福井

本校先攻にて開始。

第一回(彦中)馬場遊飛後、上杉(弟)遊脩
失に生き、安居右飛後上杉(弟)二盗し、太田
四球を得しも、川村三振で空し。

(瀧川)田中ツーストライク後のカーブを巧
みに合せて三遊間に抜き淀の左中間三壘打
に還る。森田四球、湯淺の左前安打に淀を入
れるも、三田、遠藤共に三振、加藤二壘。而

れども敵よく大日方投手の肩定まらざるに乘
じて二点を擧ぐ。(彦中0、瀧川2)

第二回(彦中)森田三振、若林遊飛、大日
方遊撃ゴロに無爲。

(瀧川)伊本左前安打に出でしも二盗に死し
坂井三前内野安打、田中四球後、淀の三壘で
坂井三壘に封殺。森田の三越二壘打に田中、
淀生還す。續く湯淺中前安打、三田中飛に止
む。敵更に二点を加ふ。(彦中0、瀧川2)

第三回(彦中)上杉兄三遊間安打、馬場遊
撃頭上の安打に無死走者一、二壘の時上杉(弟)
左前にテキサスを打つも上杉(兄)三壘に
封殺され、安居四球で一死満塁の時馬場投手
のモーションを盗んで巧みに本盗なり、走者
二三壘となる。太田三振後、上杉(弟)又本盗
に成功して本校よく二点を返す。續く川村よ
く選球して四球を得しも森田投脩。

(瀧川)遠藤四球に出づるも加地、伊本共三
振、坂井中飛に空し。(彦中2、瀧川0)

第四回(彦中)若林三壘越の安打に出づる
も、大日方中飛、上杉(兄)一飛、馬場三壘に
空し。

(瀧川)田中左飛後、淀中堅越に三壘打し、
森田中飛後捕逸に生還す。湯淺も左越二壘打

を打ちしも三田遊備に得点ならす。

(彦中〇、瀧川一)

第五回(彦中)上杉(弟)(四球)安居左飛、太田の遊備に上杉(弟)重殺さる

(瀧川)遠藤遊備、加地一備、伊本三振。

(兩軍〇)

第六回(彦中)川村遊備、森田左飛、若林一備。

(瀧川)坂井二遊間安打、田中、淀共に左前安打で本校無死満塁のピンチに襲はれしも、森際の投備で木壘、一壘に重殺し、強打者湯淺捕邪飛に倒れ本校よくピンチを脱す。

(兩軍〇)

第七回(彦中)大日方、上杉(兄)共に四球を選び馬場投飛後、上杉(弟)も四球を選んで一死満塁となるも、安居三振、太田中飛に倒れて空し。

(瀧川)大日方投手の怪腕愈々好調に、三田遠藤と共に三振せしめ、加地二備に無爲。

(兩軍〇)

第八回(彦中)川村三飛、森田遊ゴロに倒れ、若林二壘ライナー。

(瀧川)伊本三壘ゴロ、坂井三振、田中右飛にて三者何れも凡退す。(兩軍〇)

吾には和氣投合したるチームワークあり。岐阜商怖る、に足らず。選手一同黙々として戦へり。

日時 六月二十一日午後三時半開始

球場 彦根高商グラウンド

審判 原、石川、西川三氏

本校先攻にて開始

第一回(彦中)上杉(弟)三備、若林投備、馬場の猛烈なライナーは三壘手の正面をつく(岐商)長良四球に出でしも、後藤二飛、松井遊飛、加藤(三)中飛に後援續かずして無爲

(兩軍〇)

第二回(彦中)安居三備、太田ストロートの四球に出でしも、川村、森田共に三振。

(岐商)野村遊撃頭上を安打に出で二盗す、森田三振、近藤の遊備一壘失に出で二盗して一死者二、三壘となりしも加藤(義)二飛、田中遊飛。(兩軍〇)

第三回(彦中)大日方、上杉(兄)、上杉(弟)の三者何れも野村投手のカーブにか、つて三振。

(岐商)

長良遊備、後藤左飛、松井三振。

(兩軍〇)

第四回(彦中)若林遊備、馬場三壘頭上を

第九回(彦中)五對二でリードされし本校は愈々最後の攻めにうつり、大日方中堅安打上杉(兄)三遊間安打、馬場遊撃失にて無死満塁となり、上杉(弟)三振後、安居中堅左に安打して大日方、上杉(兄)生還し、太田の遊備失に馬場よく二壘より還り同点となる、一死猶走者一、二壘にありしも川村の中堅直球は野手の美技に終り、森田三振。

(瀧川)淀左飛森際投備、湯淺四球、三田三振で空し。補回戦に入る。(彦中三、瀧川〇)

第十回(彦中)若林遊備失、大日方四球で無死二走者の好機を掴む。上杉(兄)のバントは投飛となりて大日方二壘に重殺され、馬場左飛に刺されて本校好機を逸す。

(瀧川)遠藤二壘右を抜く安打、加地四球の時、伊藤のバントは内野安打となりて本校無死満塁の絶体的ピンチに陥る。然れども大日方投手悠々として0-1-3三球を何れも通して坂井を三振に打取る。續く田中ツーストライク後三壘にゴロを打てば三壘手上杉(弟)よく捕りしも本壘に投ぜず野選となりて遠藤決勝の一点を擧ぐ。

Score table with columns for school (本校) and player (瀧川) and rows for runs, hits, errors.

抜く安打、安居も三壘左を抜く安打に走者一、二壘となりしも、太田右飛、川村三備で後援なし。

(岐商)加藤(三)中飛、野村遊直、森田三振で三者凡退す。(兩軍〇)

第五回(彦中)森田、大日方共に二備、上杉(兄)遊備にて敵の好守に倒る。

(岐商)近藤三備後、加藤(義)よく選球して四球田中左前安打にて本校再度ピンチに陥るも大日方投手よく緊つて長良左飛、後藤三振

(兩軍〇)

第六回(彦中)上杉(弟)遊飛、若林中前安打に出で馬場の三備に二壘に殺さる。安居打者の時、馬場二盗成る。安居遊撃左を抜く安打に本校走者一、三壘の好機を掴む。太田打者の時安居一、二壘間に挟まれ其の間に馬場本盗せ入として二壘手からの轉送に三、本壘間に刺さる。

(岐商)敵の強打者松井左飛、加藤(三)三振野村遊備に空し。(兩軍〇)

第七回(彦中)太田三振後、川村左飛失に出づるも、森田、大日方共に三振。

(岐商)

森田三壘強襲安打に出で近藤の投前バントに二進し更に加藤(義)の右翼失に一死

校 場第居田村田林方兄
杉上安太川森若大上

本 658243917
3856684000
數点打振死壘策打打

川 中 際淺田藤地本井
田 森湯三連加伊坂
瀧 635187942

二壘打 淺
三壘打 淀(2)

大垣遠征之記
六月十四日大垣に遠征し大垣商業球場に於て左の二試合を行へり。

午前十一時より 大垣中學 3-2 敗
午後一時より 大垣商業 2-0 勝

岐阜商業對戰之記
連日の猛練習に吾等はメキメキと技術を上達し遂に全國の覇を握る東海の名門岐阜商業に挑戦せり。彼には松井、長良、野村、加藤森田と其勇名を轟かす幾多の名選手あるも、

走者二、三壘となりしも、田中三振、長良三備で空し。斯くしてラッキーセブンを過ぐるも0對0にて觀衆皆熱狂する。(兩軍〇)

第八回(彦中)三者凡退。
(岐商)後藤四球、松井の投前バントは内野野選となりて本校無死走者一、二壘のピンチに襲はる。續く四番加藤(三)の右翼翼後に後藤二壘より三壘を盗み、野村打者の時松井も二盗す。投手のランバントでホームベースに當る暴投に後藤最初の一点を擧げ松井も三進す。野村の一壘ゴロを野手失し松井生還、續く森田、近藤共に左飛。而れども敵よく二点を先取す。(彦中〇、岐商二)

第九回(彦中)二点をリードされし本校は必死に頑張り、馬場左前安打に出でしも安居三振に倒れ、太田の遊備で馬場二封され、二壘手更に一壘に投ぜしも暴投となり、太田二進せしも川村中飛で萬事休して彼に降る。噫又情なき哉。

Score table with columns for school (本校) and player (岐商) and rows for runs, hits, errors.

校	弟林場居田村田方兄 杉上若馬太川森大上
本	596824817
打点	320501111
安打	2415331
三振	3331
盗塁	1
失策	1
商	良藤井三村田藤義中 長後松加野森近加田
岐	478213659

夏季練習之記

吾等が目標とする大朝の全國大會を目前に
ひかへ一同愈々躍如たる征覇の大望に燃え、
七月十日試験終了後直ちに下片原の松盛館に
合宿して猛練習を開始す。慶應大學より勝川
主將、九里、河瀬の三選手を招聘して銳意其
の指導を受く。

惟へば過去一年間吾等が汗と涙の中に、
或は花に戯れる人や、舞飛ぶ胡蝶をよそに、
或は炎熱焼くが如き太陽の下に、或は靈峰伊
吹を吹き下し身に徹する寒風の中に夕闇迫る
まで精進に精進を重ねしもの皆本大會を目ざ
せるなりき、特に本年は輝く黄金時代を築き
本大會を最後として過去五ヶ年間の中等學校
野球生活を終るべき五年生六名を數へ、練習

も真劍にして且つ一段と猛烈を加ふ。授業終
了後休む暇もなく午後一時よりボールの見え
ずなる八時まで百幾度の炎々たる猛暑をも
こもせず吾等は唯一路京津征覇をめざして殺
人的猛練習に勵めり。

京津大會第一次豫選出
場之記

七月二十七日吾等は遂に待ちに待ちし京津
大會に出場することなれり。

願れば炎熱焼くが如き七月の太陽の下に、
熱意氣に燃えて、夕陽の比叡の山に没す
るまで汗を流せし猛練習も今日に備へしもの
なりき。斯くて二十五日、多賀大社に必勝を
祈願し、熱烈なる聲援を受けて一路京津の征
途につけり。

第一回戦 不戦一勝

七月二十六日戦機愈々熟せり。然して綠ヶ
丘球場の興奮は日々に高まり、虎姫何者ぞ
、赤鬼健兒の腕をば見せてくれん。此日た
るや天高く晴れ、太陽は炎々たる其の光を吾
に浴せし吾出陣を祝するが如し。一同、虎
中の如き者眼中に無き言へ、小敵と雖も

第二回戦 本校對虎姫中學

七月二十六日戦機愈々熟せり。然して綠ヶ
丘球場の興奮は日々に高まり、虎姫何者ぞ
、赤鬼健兒の腕をば見せてくれん。此日た
るや天高く晴れ、太陽は炎々たる其の光を吾
に浴せし吾出陣を祝するが如し。一同、虎
中の如き者眼中に無き言へ、小敵と雖も

む。(虎中〇、彦中四)

第五回(虎中)川上テッドボール、香水遊
撃フライ、久保三振、北村の二壘ゴロで川上
二壘に封殺。

(彦中)馬場の二壘ゴロを二壘よく捕りしも
一壘に暴投して馬場一舉二進す。川村遊撃強
靱安打に出で、直ちに二盗して無死走者二、
三壘となる。安居四球に續いて無死満塁とな
り、本校此回更に大量得点をせんす。果せ
るかな、太田三遊間を抜くと思はれる猛烈な
直球を打てば敵の遊撃手横つ飛び、逆シング
ルにて掴み本壘に向つてスタートせし三壘走
者の馬場を重殺す。續く上杉(弟)の三壘ゴロ
に川村三壘に封殺さる。(兩軍〇)

第六回(虎中)北川三振、西村投飛、中川
投手ゴロで三者全く大日方投手に奔弄さる。
(彦中)上杉(兄)よく四球に出で直ちに二盗
し、森田の中前安打に長驅生還して一点を加
へ此所に本校計十点を算して規約により敵を
六回のコールドゲームにて降す。

先	虎中	本校
0	000000	131401A
0	0	10A

メンパー次の如し。

之を侮らざるはこれ彦中赤鬼スピリットの根
本たり。されば一同慎重に對戦す。

西田(球)、伊東、辻三氏審判の下に午前十
時開始さる。虎中先攻

第一回(虎中)北村二飛、北川、西村共に
四球に出でしも、中川三振、馬場遊撃で無爲
(彦中)馬場ストレートの四球、川村の一捕
で二進し、更に安居の遊備で三壘に達すれば
太田遊撃右を抜く安打に馬場堂々生還して最
初の一点を擧ぐ。上杉(弟)三振せしも本校よ
く一点を入れ氣勢を上ぐ。(虎中〇、彦中二)

第二回(虎中)清水中飛、川上遊撃ゴロ、
香水三邪飛。

(彦中)上杉(兄)、森田、若林と三者共に四
球を得て無死満塁の絶好のチャンスを迎へ、
大日方三邪飛に死せしも、吾リードオフマン
馬場胸近くのボールを一打すれば、左翼手の
頭上を越え扉にあたる痛烈なる三壘打となつ
て上杉(兄)、森田、若林の三者踵を並べて悠
々生還す。川村、安居共に四死に出でて再び
一死満塁となり猶甚だ有望と思はれしが、太
田の右翼左の猛烈なライナーを右翼手よく好
走好捕して川村二壘に重殺さる。
(虎中〇、彦中三)

中 村川村川場水上水保

中	北北西中馬清川香久
虎	190163010
打点	7856659234
安打	221081124401
三振	221081124401
盗塁	221081124401
失策	221081124401
本	648252391
校	場村居田弟兄田林方
馬場	馬川安太上上森若大
重殺	清水久保、中川西村

準優勝戦 本校對八幡商業

明けて二十七日本校は遂に宿敵八商。組み
あへり。この職に勝たんが、吾等は京津第二
次豫選に出場する権利を得ん。而も八商は吾
が苦手なり。彼は昨夏以來「打倒彦中」をモ
ットトとして今日を待てりとの事。而して勝
負は水物なり。故に一同は勿論慎重に必勝を
期して八商をば吾駒の蹄の下に蹴散らさすに
はおかじと互ひに激勵し合へり。

果せる哉本日八商は深き覺悟の色其顔面
に現はれ、其の意氣なるや將に吾を感さんば
かりなりき。又八幡よりの彼の應援團亦物凄
し。スタンドは本日の熱戦や如何に固睡を

第三回(虎中)久保の左邪飛、左翼手の美
技に退けられ、北村右飛、北川三振。

(彦中)上杉(弟)三邪飛、上杉(兄)遊撃頭上
の安打に出で直ちに二盗し森田の左前安打に
生還す。森田も左翼手の本壘送球の間に二進
せしも、若林遊撃、大日方の三壘越の猛烈な
直球も野手飛びついて好捕する。
(虎中〇、彦中一)

第四回(虎中)西村三壘ゴロ、中川三球で
三振の後、馬場遊撃右を抜けずも、清水三振
(彦中)馬場ストレートに、川村、安居、太
田と何れもラストボールの後に四球を選んで
馬場押出しの一点を加へる。上杉(弟)の遊撃
ゴロで川村本前に刺されしも、上杉(兄)の三
壘右を抜く安打に安居生還し、森田の一、二
壘間安打は太田、上杉(弟)を迎へる。其間に
上杉(兄)も長驅三壘に達し、森田又すばやく
二壘に進む。續く若林投手ゴロ、大日方の中
堅大飛球も中堅手の美技に空し。而れども本
校此回よく選球し、よくタイムリーに打ち、
然してよく走つて合計四点を入れ、合せて九
点を奪ふ。更に一点を加ふれば計十点となり
五回コールドゲームにて敵を降すべし。而れ
ばナイン一回更に一点を奪はんもの意氣込

呑んでグラウンドを眺める観衆をもつて満たされたり。

斯くして午後二時西田(球)、馬場、中野(壘)三氏審判の下に開始さる。八商先攻

第一回(八商)須田ツーストライク後三壘ベンチ前にファールフライを打上ぐれば太田捕手よく走りベンチ前で片手を出してよくボールをミットに収む。満場の観衆其のファインプレーに思はず高雷の拍手を惜まず送る。續く手塚の一壘側のファールフライも捕手の美技に退けられ、安村ストロートの四球に出ても塚本、大日方投手得意のインカーブにかゝりて三振。

(本校)馬場四球、上杉(弟)投前内野安打に無死二走者を出せしも安居捕邪飛に倒れ、太田の三壘ゴロに馬場三壘に重殺さる。

(兩軍0) 第二回(八商)伊藤投手頭上を抜く安打に出ても、長谷中飛、井崎の三壘ゴロに伊藤二壘に封殺され、高木一壘越安打に出ても田中三振で得点ならず。

(本校)大日方スリーナッシング後三壘に倒れ、上杉(兄)の左翼大飛球は左翼手の美技に終り、森田三壘ゴロに空し。(兩軍0)

第七回(八商)須田左前安打に出ても、手塚の三壘に封殺され、安村の左翼飛球は野手よく掴み、塚本遊撃ゴロに得点ならず(本校)ラツキーマンを迎へ、本校三對二の頽勢を奪回せんとい同陣を組んで激勵し合ふ。先づ上杉(兄)三壘失に出づれば森田慎重に之をバンドで送り、更に川村の遊歩で上杉(兄)三壘に進む。若林の一打は全球場の興奮と注目を集めしも惜しくも遊歩に倒れる

(兩軍0) 第八回(八商)伊藤二飛、長谷三振、井崎中堅フライに倒れて三者凡退す。

(本校)餘す所僅かに二回、本校稍焦燥の體現はる。而れども吾等は百戦練磨の士たり。先づ馬場四球に出れば上杉(弟)巧妙なセーフチバント見事に成功して無死走者一、二壘となる。續く安居投前にバントすれば投手よくこれを捕へて三壘に送球す。二壘走者馬場猛烈なる勢で三壘に飛込みしが如何せん。壘審の右手は上りて惜しくも刺さる。太田左飛後、上杉(弟)三盗に成功せし後、大日方ストロートの四球に出で本校再度二死ながらも満塁のチャンスを得む。而も安打は先に満塁に於いて痛烈なる二壘打を打ちし上杉(兄)なり

第三回(八商)須田右飛後、手塚中前安打に出で更に安村の遊歩失で一死走者一、二壘となる。而も打者は四番、強打者塚本なり。大日方投手懸命に投ずる球を塚本一打すれば球は左翼線上を抜く見えたり。左翼手背走してよくこれを捕り直ちに矢の如き球を二壘に返し躊躇せる。二壘走者を重殺す。胸のすく如きファインプレーたり。

(本校)川村遊撃フライ、若林の一打は猛烈な直球なりしも惜しくも投手の正面を襲ひて倒れ、馬場中前安打に出で上杉(弟)打者の時二盗ならずして刺さる。(兩軍0)

第四回(八商)伊藤三遊間安打、長谷の遊歩内野野選に本校無死二走者のベンチに陥る井崎投前に犠牲バントすれば投手素早く飛び出してよくこれを掴み振り返つて三壘に投じて二壘よりの走者を封殺せんといれども走者伊藤已に三壘に達したり。投球を止めんとせしが投球モーションの爲に球は横にすべり三壘ベンチ前まで轉々する間に伊藤生還す。其間に走者夫々二、三壘となる。猶も無死なりしが大日方投手よく緊つて續く高木、田中と共に三振に討取りベンチ去れりと思はる。然るに續く須田よく中前に安打して長谷、井崎

満場の観衆の熱狂は當に其の絶頂に達し成行き如何んぞ手に汗を握る。ツーストライク後上杉(兄)強打すれば左中間の大飛球となる。観衆思はず騒ぎ立てり。而れども何たる不運だ敵の中堅手背走又背走してよく之を捕へて満場をうならす。(兩軍0)

第九回愈々最終回を迎へ一同互ひに激勵し合つて守備につく。大日方投手悠々迫らずして高木を三振に討取り、田中を歩かせども田中二盗に刺され、須田中堅フライに終る。

(本校)嗚呼遂ひに來れり。最後は來れり。吾等此回に一点を返さずば萬事それまでなり吾五ヶ年間の野球生活もこれで最後か。あの殺人的なる猛練習は果して何の爲にせしや。京津征覇は夢なりしか。否、斷じて否一吾等は最後まで戦ふべきなり。一同悲壯なる決心を以て最後の攻撃を開始せり。森田四球に出で病將川村中前に安打を放つて本校再び絶好のチャンス到來す。前日の試合に足を挫いた川村の代走太田となる。此時八商の選手一同タイムを願つて何事かを計りしがタイムと共に二壘走者森田が壘を離るると同時に遊撃手にこれにタツチをしてボールを出す。二壘の審判アウトを宣告す。噫再び逸機か。選手一同

生還し其間に須田二進す。手塚の左飛に終りしも、八商此回よく三点を入れて吾を脅かす(本校)上杉(弟)遊越安打に出でしが安居の三壘に封殺され、太田四球に續く。大日方の三壘に安居三壘に封殺され二死となる。上杉(兄)第一球を打てば左翼越の堂々たる二壘打となり太田、大日方生還し本校忽ちの中に二点を返し試合は益々白熱す。森田捕邪飛。

第五回(八商)安村ストロートの四球に出ても、塚本の三壘に封殺され、塚本二盗成り、伊藤の二壘で三進せしも長谷の一壘を一壘手よく掴み其ま、ベースに入つてアウトとなる。

(本校)昨日の試合に負傷せし川村も味方の頽勢に奮然として一打すれば三遊間を猛烈な直球で抜く安打となりしも若林の遊歩に封殺され、馬場よくネバツタ擧げ低目のボールにかゝりて三振し、上杉(弟)の遊歩に若林二壘に封殺さる。(兩軍0)

第六回(八商)井崎、高木共に三振、田中三壘に倒れ、大日方投手徐々に其の手腕を現す。

(本校)安居左飛、太田投歩、大日方遊歩で空し。

聲なし。然し天はやはり正義に味方す。若林の遊撃ゴロを遊撃手失して再び走者一、二壘となる。此時吾ラツキーマン馬場、勝川氏より懇々と注意を受けてパツターボックスに入る。ワンボール後の高目の直球を強打すればバントはカン々答へたり。而して白球はぐんぐん伸びる遊撃手の頭上を越え遂に左中間を抜く殊勳の大三壘打となりて太田、若林堂々生還して決勝の二点を擧げ殊勳者馬場戦友に抱かれてベンチにもざれり。吾等に勝てり。又何をか語らん。後は唯涙あるのみ。

先	八	商
本	0	0
校	0	3
	0	0
	0	0
	0	0
	0	0
	0	0
	0	0
	0	0
	2	A
	4	A

八	商	本	校
須手安塚伊長井高田	田塚村本藤谷崎木中	場弟居田兄方田村林	馬
5411238796		34370731100	上
		31481151211	安
			太
			大
			森
			川
			若
			者
			6
			5
			8
			2
			7
			1
			3
			4
			9

二壘打 上杉(兄)

三壘打 馬場

重 殺 須田、伊藤、上杉(兄)、川村

優勝戦 本校對勝所中學

七月二十八日。祝さん哉此日。昨日の苦戦に十分戒められし吾等は一層の警戒と意氣をもつて本日の大會において吾等は同じく優勝戦に無念の涙を流せるにあらざるや。而して偶然にも再び此所に彼の勝中と雌雄を決せんは。選手一同雪辱を誓ひて一路縁ヶ丘に向へり。

斯くして午後二時より、光林(球)中野、原辻(以上壘)四氏審判の下に開始さる。

勝中先攻

第一回(勝中) 岩見四球に出でしも二盗に倒れ、岡本三振、中村(源)左飛で空し。

(本校) 馬場右飛、上杉(弟)中飛、安居投捕と何れも好打するも野手の正面を衝きて空し(兩軍0)

第二回(勝中) 谷澤ラストホール後遊撃フライに退き、中村(清)もラストホール後三振し、澤井又ラストホール後二罰失に出でしも小原ラストホール後三振す。勝中盛んに待球

そと猛烈に彌次り出す。

第八回(勝中) 中川三壘のベース寄りを抜き小西の投前バントに二進す。續く岩見よく三壘頭上を抜きて中川二壘より三壘を越えて更に本壘に向つて突進するや一壘側の勝中應援團全員總立ちとなりて騒ぎ立つ。而し吾左翼手上杉(兄)前進又前進しホールをランバントで速く掴みて本壘に投球すれば理想的なるバツクホームミとなりて中川本壘前で憤死す。觀衆思はず其の美技に拍手を送る。其間に岩見二進し、岡本死球に出でし後兩者のダブルスチール成りて二死ながらも走者二、三壘のピンチとなる。續く中村三壘後方にフライを打上げれば三壘手よくバツクして捕へ本校巧みにピンチを切抜ける。

(本校)今のピンチに反撥せし吾等は大きい元氣を出して此回必ずや得点せんを期す。上杉(弟)よく四球に出するや、強打者安居慎重これをバントで送る。續く四番太田ランマンの後一打すれば球は左中間に落ちる絶好の安打となる。これを見るや二壘走者上杉(弟)脱兎の如く三壘を越えて遂に本壘を陥れ最初の一点を擧ぐ。太田又本壘送球の間に二進す。大日方遊撃に猛烈なゴロを打てば遊撃手よく

主義に出で本回の如きはボツクスに立ちし四打者悉くラストホールまでネバレル。

(本校) 太田、大日方四球に出れば上杉(兄)型通りバントで送り、森田更に四球に一死満塁となる。川村ラストホールまでネバリしも惜しくも三振に倒れ、若林遊撃フライに退きて本校先づ絶好のチャンスを得ず。

(兩軍0)

第三回(勝中) 中川捕邪飛、小西三振後、岩見三前内野安打に出でしも岡本の三罰で封殺。

(本校) 馬場中前安打に出で捕逸で二進し再び好機を掴ども、上杉(弟)三壘フライに倒れ安居左飛後、馬場三盗に成功せしが太田遊撃フライで得点ならず。(兩軍0)

第四回(勝中) 中村(源)一罰すれば投手よく壘に入つて一壘手巧みにトツスして走者を刺し、谷澤右飛、中村(清)三罰で三者凡退。(本校) 大日方四球に出で、上杉(兄)三振後森田中前に絶好の安打を打ちしも大日方スタート悪く二壘に封殺され、森田又二盗に倒れる。(兩軍0)

第五回(勝中) 澤井右前安打に出で直ちに二盗せんとして一、二壘間に狭殺さる。續く

腰をおろして捕へしも一壘に悪投して太田二壘より勇躍生還す。大日方又二進せしも上杉(兄)左飛、森田投捕に倒れる。而れども本校遂に二点を入れ〇對〇の均衡破る。

第九回(勝中) 最後回に入るや二点をリードされたる勝中猛然と反撃し來りて谷澤、中村(清)共に四球に出でて無死走者一、二壘となる。而れども吾ヒーロー大日方投手少しも動搖せず悠々投球して澤井を三振に討取り續く小原を遊飛せしめて二死となる。中川又皮肉にもテットボールを得て二死ながらも満塁となり試合正に興奮の絶頂に達す。小西よくツーホールまでネバリしが其の次の好球を逃さず打ては二壘ゴロミなる。二壘手川村懸命に前進してよく掴みて中川を二壘に封殺して吾遂に昨年の雪辱を果し、此所に大優勝旗は安居主將の手に授與されたり。斯くして京津征覇の第一段階を見事に切抜けた吾等は更に第二步を踏み出して強敵京都勢を向に廻して戦ふべく一層自重せり。

當日のメンバー如の如し。

Table with 2 columns: 先, 勝中. Rows: 本校, 000000002A, 2A, 0

小原スリナツシシグの後大日方投手懸命に投球してツーストライクを取れば小原盛んにネバツテ第九球目を二罰して死す。中川もラストホール後遊撃に倒る。

(本校) 川村遊撃右を抜く安打に出で若林の三前バントに二進せしも馬場三壘ゴロ、上杉(弟)左飛に後援續かず。(兩軍0)

第六回(勝中) 小西第一球を打てば二壘フライとなり、岩見又第一球を三罰せし後、岡本右前テキサスして二盗に成功すれども中村(源)投捕して空し。

(本校) 安居遊撃後、太田、大日方共に遊撃失に出で本校再度のチャンスも掴みしも續く上杉(兄)三飛、森田の三罰を野手よく捕へて空し。スタンドの全勝中ファン熱狂して盛んに応援を送る。(兩軍0)

第七回(勝中) 谷澤三振、中村(清)三邪飛澤井中前安打せしも小原の遊撃強備澤井を二壘に封殺す。

(本校) 川村捕邪飛、若林の右翼飛球を右翼手よく捕へ馬場の中堅左の大飛球も好走好捕に空し。斯して第七回を終るも猶〇對〇の均衡破れずして満場の大觀衆何れも熱中して戦況の成行きに興奮す。特に勝中ファン此所

Table with 2 columns: 中, 見本. Rows: 見本, 岩岡, 290616533, 687124935, 263332511, 263332511

京津第二次豫選出場之記

第一次豫選に榮冠を獲得せしが吾等は歸彦する事なく大津より直に京都へ向へり。京都在任有力諸先輩の熱誠なる歓迎會を受け吾等は一層責任の重大さを痛感せり。第二次豫選の開催日まで毎日縁ヶ丘球場にて練習を續行し以てコンディションを好調にすべく慎重に考慮せり。其間勝川氏や諸先輩は京都豫選の試合を見學され敵の長短所をよく見抜かれり。

斯くする内に京都の代表校も平安中學、京都一商と決り此所に京滋の四代表は母校と郷土の名譽の爲に必死となつて争はんことを。七月三十一日待望の抽籤の結果吾等は遂に強豪平安中學と組めり。「平安だ」と言ふ一聲

に選手一同思はず顔を見合はして互ひに大膽不敵な微笑を交す。

「おー平安か!!! やらう、死んでもやらう!!」
「遂にぶつかつたぞ 平安が何だ。どうせ當るのだ。早い方がよい。」と各自互ひに深く固く必勝を誓へり。

京津大會優勝戦

本校對平安中學

八月二日!! 嗚呼記憶すべき此日!! 朝より空は一面に曇つて時折雨さへも降つて吾等は試合舉行が否かを危ぶめり。而れども球場よりの電話により「本日試合舉行す。」との報せにより一同は十分氣を鎮めて悠々時間の間を待つ。其間先輩、友人、フアン等各位よりの無数の激勵の電報を受けて「吾等は倒れるまでやらう。」と互ひに勵ましあへり。午前十一時吾等は「打倒平安」を口にしたへつ、西京極球場に向ふ。途中商業の校庭にて少しく練習し其のまゝ愈々晴の舞臺へ急げり而して吾々の一生忘るゝ事能はざる試合は午後一時より開始されたり。

球審 松井

轟轟 富森、太田、村齋三氏

古川又二盗して無死走者二、三壘となる。大日方投手よく廣瀬を三振に討取つたが、由利の二越安打で北川生還し由利も二盗して再び走者二、三壘となりしも、富山三振、田中四球後、雁瀬捕邪飛に刺さる。

(本校) 上杉(弟)四球に出でしも川村の遊捕に封殺、馬場の一打は左翼左を抜く痛烈な二壘打となり川村一壘より長驅生還す。安居遊撃内野安打に續いて直ちに二盗し、一死走者二、三壘となる。太田投捕失で一死満塁の時上杉(兄)の三捕は太田を二壘に封殺せしも其間に馬場生還し二点を返す。若林四球で再び満塁となつたが森田遊捕でチェンヤとなる。而れども本校此回よく二点を返し試合は徐々に白熱す。(平安一、本校二)

第六回(平安) 岩本中飛、辻井二捕後、北川右前安打古川左前安打に續いたが廣瀬右飛で無爲。

(本校) 大日方一壘フアールフライ、上杉(弟)三振後、川村四球に出で二盗す。馬場再び絶好の安打を三遊間に打ち川村二壘より生還して更に一点を返し差は三点となる。馬場も二盗に成功せしが安居の遊捕でチェンヤとなる。(平安〇、本校一)

平安中學先攻

第一回(平安) 田中四球に出で、雁瀬との間にヒットエンドランをすれば雁瀬の一撃は猛烈な直球となりあはやヒットかと思はれたが大日方投手それをハシツと止めて其ま、田中を一壘に重殺す。續く強打者岩本遊撃フライで得点ならず。

(本校) 一番打者上杉(弟)、北川投手の肩定らざるに乗じて四球を得るや、平安慎重に北川を中堅に退けて廣瀬を投手とし天川退く。續く川村、馬場は何れも遊撃投手にフライを上げる。安居の一打は中堅左の猛烈なライナーとなり左中間を抜いたと見えだが中堅手北川よく掴んで惜しくもものにならず。

(兩軍〇)

第二回(平安) 辻井二捕後、北川、古川共に四球に出づ。廣瀬のバックネット前の捕邪飛を太田捕手よく捕へるや、二壘走者北川の三壘に向つてスタートを起すのを見て三壘に送球せんとして投球モーションをすれば北川其ま、二壘に留る。其所で太田又三壘投球を中止せんとして止める能はずボール轉々して遂に平安のベンチ中に入る。かくてグラウンドルールにより北川二壘より一壘生還し、古川

第七回(平安) 由利一捕、富山遊撃内野安打に出でたが二盗に刺され、田中四球を得しも雁瀬右飛。

(本校) 太田よく選球して四球、上杉(兄)もバツタが三振に倒れた後、若林投手内野安打に續いて好機と見えだが、森田三振、大日方遊撃ゴロで空し。(兩軍〇)

第八回(平安) 岩本三壘ゴロ、辻井二壘ゴロ、北川三振で三者凡退す。

(本校) 上杉(弟)右前安打に出れば川村四球に續き更に馬場もラストボールまで待ち次の低目のボールで四球と思はれたが審判ストライクを宣言して馬場三振となる。續く安居の遊撃ゴロで川村二壘に封殺された後、安居二盗す。續く太田四球で二死満塁となるや彦中の應援團は熱狂す。上杉(兄)若林と共に四球で、上杉(弟)安居押出されて二点を加へ六對五と差僅かに一点となる。續く森田もワンストライクスリーボールからラストボールとなり、スタンドの觀衆は唯此の一球や如何に手に汗を握つて投手と打者とも凝視して居る。續く一球はグレンートの真中を通り、森田得たりと振れば三壘ゴロとなつて三壘手よく捕り一壘に投ずるも大高投となりしも名一壘

も三壘に進む。由利一壘ゴロ。

(本校) 太田三振後、上杉(兄)四球に出で、若林捕邪飛後森田、大日方共に四球で二死ながら満塁となりしも上杉(弟)三捕で惜しくも点ならず。(平安一、本校〇)

第三回(平安) 富山、田中共に大日方投手の不調に乗じて四球に出で、雁瀬の三壘ゴロを野手捕つて一壘に投ずれば一壘手これを後逸して富山生還し走者夫々二、三壘となる。岩本三捕後、辻井の右中間二壘打で田中、雁瀬生還す。續く北川左前安打、古川投飛で二死後廣瀬の遊捕一壘失で辻井生還し、由利捕邪飛に倒れしも平安此回四点を加へて吾を壓す。

(本校) 川村四球に出で馬場中飛後安居右前安打で走者一、二壘となりしも、太田の二捕で安居重殺されて無爲。(平安四、本校〇)

第四回(平安) 富山三振、田中遊飛で二死後、雁瀬四球に出で二盗に成功し、岩本も四球に續いたが辻井二捕で無爲。

(本校) 上杉(兄)遊捕、若林投捕後、森田中前に安打せしも大日方三振。(兩軍〇)

第五回(平安) 北川の一撃は左中間二壘打となり、古川の投前内野安打で北川三進し、

手岩本よくジャンプしてそれを掴み間一髪で森田刺さる。而れども本校打撃物凄く此の回更に二点を加へて意氣愈々盛んとなる。

(平安〇、本校二)

第九回(平安) 最終回を迎へ本校はこれ以上敵に点を許すまじと緊張して安備につく。古川、廣瀬共に右飛で二死後、由利中前安打に出でたが富山三振で交替。

(本校) 最後の攻撃に入り一同ベンチ前に勝川氏を中心に圓陣を作り最後の手を授かりて必死となつて攻撃す。而れども大日方三振に倒れ、上杉(弟)三壘ゴロに討取られて二死となる。續く川村の投前ゴロを投手フアンブルして川村一壘に生く。續くは三番馬場、馬場本日は非常に當つて居り一同大いに彼の一打を期待せしも天遂に吾を見捨てたるか。彼の一撃は中飛となつて萬事休止吾涙をのんで平安の馬前に伏す。

嗚呼悲しい哉。回顧すれば過去三年間母校の名譽と意氣とを雙肩に荷ひ湖國勢の爲に孤軍奮闘、幾度か榮えある月桂冠を獲得して駒を甲子園原頭に進めんとせし事も全て此所に過去の夢となれり。

西京極球場に夕闇迫る所選手一同相擁して

唯男泣きに泣けり。特に日本をもつて野球生活を終りし五年生六名は過ぎし幾星霜を顧み萬感胸奥に去來して立つ能はざりき。

先	平安	本校
0	1	0
4	0	1
0	1	0
0	0	0
2	1	0
0	2	0
0	0	0
0	0	0
5	6	

平安
中瀬本井川川瀨利山
田雁岩辻北古天廣由富
6532198147
3695931122
數点打振球壘策打
35打得安三四盜殘失二壘

校
弟村場居田兄林田方
杉馬安太上若森大
546837931

二壘打
馬場、辻井、北川
大日方、森田
重投
由利、田中、岩本

個人打撃一覽表

自十年九月—至十一年八月

氏名	試合數	打撃數	得点	安打	二壘打	三壘打	本壘打	壘打數	犠打	三振	四死	盜壘	打撃率
安居	37	132	19	42	3	1	0	47	3	13	23	20	0.319
森田	37	128	16	38	9	0	2	53	3	24	14	12	0.297
馬場	36	133	32	37	5	3	0	48	2	13	22	19	0.2782
上杉弟	37	139	36	35	1	1	3	47	3	28	25	30	0.252
太田	35	117	18	27	4	1	2	39	2	4	16	6	0.231
川村	37	126	26	29	5	2	0	38	1	17	26	14	0.230
上杉兄	37	115	24	25	4	1	1	34	1	34	30	12	0.217
若林	37	119	17	24	2	2	0	30	5	12	21	6	0.202
大日方	36	110	16	19	2	2	0	25	0	28	26	2	0.173
門野	10	24	8	6	0	0	0	6	1	5	12	1	0.250
杉本	2	4	1	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0.5
大森	3	6	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0.333
菅井	4	6	1	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0.333
瀧川	3	6	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0.166
森野	3	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.000
江畑	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
細川	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
上杉阿	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
合計	37	1178	124	289	35	13	8	374	21	182	218	124	0.2463

◎試合成績一覽表

昭和十年度	九、一五	本校	13	3	長濱商業
	同、二九	本校	6	3	彦根商業
	同、五	本校	19	0	彦根工業
	同、六	本校	14	6	虎姫中學
	同、一	京商	7	6	本校
	同、三	平安	2	0	本校
	同、一〇	京師	2	0	本校
	同、一七	本校	7	1	膳所中學
	同、二三	本校	6	0	彦根高商
	同、二四	本校	6	2	郡山中學
	同、三〇	本校	8	1	八幡商業
	十二、二七	選拔軍	2	1	本校
昭和十一年度	一、三	本校	2	2	諏訪
	同、五	姫路中	6	0	本校
	同、七	本校	2	0	神戶一中
	同、一二	育英商	7	0	本校
	同、一六	平安中	7	0	本校
	同、二二	本校	5	0	京都商業
	同、二六	本校	2	0	京都二商
	四、一	本校	5	0	京都三商

同、一六	本校	12	3	彦根商業
同、二六	本校	12	0	八日市中學
同、二九	本校	11	0	長濱商業
同、三〇	本校	10	1	八幡商業
同、一〇	平安中	16	0	大津商業
同、七	瀧川中	7	4	本校
同、二二	第一軍	7	6	本校
同、一四	大垣中	3	2	第二軍
同、二	本校	2	0	本校
同、二一	岐阜商	2	0	大垣商業
七、一六	本校	16	0	本校
同、二三	第一軍	5	1	先輩軍
同、二六	本校	10	4	第二軍
同、二七	本校	3	0	虎姫中學
同、二八	本校	2	2	八幡商業
八、二	平安中	6	0	膳所中學
以上三十七戰	二十四勝、十二敗、一引分			



庭球部報

庭球部
部長 佐藤先生
理事 大崎先生
部員 馬場 晃 堤 憲
木村 俊茂 植田 喜穂
夏川 要三 池田 政吉
小林 隆 廣野 寛
淺島 浩二
西田洋次郎 松本 信男
吉田 一雄 津田 實
奥田 元重

昨年度の我部の戦績は、五年生が居なかつたことは云へ餘りにも慘なものであつた。然し本年度四月陽春からの我部の練習は新コートの落成と共に峻烈を極め部内の統一を計り、一途に縣下の覇權を握るべく邁進して來たのであつた。果せる哉、遂に我部は縣下の覇權をシナルに於て得る事が出來たのだ。

二年前小山、田中、鹿野の諸先輩が優勝し得べき實力を持ちながらも、八商コートの於て悲憤の涙を吞みてより、雌伏二年間遂に宿

敵栗農の一部を崩し優勝せし事は硬式に變りてより、我部最初の事にして、部員一同誠に欣快の極みなり。されど我部は此の一事に満足せず、來年度に於ては單復共に縣下の覇者となるべく、否、全國に於て其の名を擧ぐべく更に努力せん事を誓ふものである。次に本年度戦績を報知す。

(四月二十九日)

本校對八商對抗マツチ(本校コート)
此の日曇り勝ちなれど、本年度最初の試練なれば、我等意氣天を衝く。

(復) 本校 八商	
No. 1 木村	6-0 門川
No. 2 馬場	3-6 美濃部
(單) 某	
No. 1 木村	1-6 美濃部
No. 2 馬場	6-1 谷
No. 3 植田	6-3 門川
No. 4 淵元	6-3 某

相手は濱寺大會に於てダブルスに優勝せし者なれど、木村常にこれを壓迫し、終始リードすれど遂に一セットを先取せらる。二セット目に於て俄然木村憤起して5-2とリードす。されど噫!!何んたる不幸ぞ、今迄に体の不調を押へて頑張り來りし木村も、遂に耐ふる能はず棄権せんせしもこれを止め、最後迄頑張り、遂に敵に勝を譲れり。誠に残念なり。

(復) 木村 1-6 山川(關學中)
植田 2-6
實力の差如何とも仕難く涙を呑む。然し決して見劣りのする試合ではなかつた。
濱寺大會に出場出來ざりし鬱憤を晴らさんせし此の大會も、群る強豪に如何とも出來ず、敗れしは無念なれど、此の大會の我等に與へし力は亦大なるものあらん。

(九月二十日)
縣下大會(本校コート)
早朝よりの曇天は試合開始と共に雨となり中止と思はれしも無理に行ふ。一年間待ちに待つた大會なれど、此の様な雨中に於ては選手一同幾分減入氣味なり。
第一回戦

(六月十四日)
本校對栗農對抗マツチ(栗農コート)
先年度の縣下の覇者、栗農との對戦なれば一同自信はあれど、緊張して此れに向ふ。

(復) 本校 栗農	
No. 1 木村	4-6 青山
No. 2 馬場	6-4 増田
No. 1 淵元	6-4 中西
No. 2 馬場	6-1 増田
(單) 某	
No. 1 木村	4-6 青山
(復) 本校對長農對抗マツチ	
No. 1 木村	6-1 除
No. 2 馬場	6-0 高屋敷
No. 1 馬場	7-5 除
No. 2 木村	6-0 西川
No. 3 植田	6-3 高屋敷

(復) 本校(馬場) 2-6 栗農 No.2
小森
轟に對抗マツチに於て、馬場は淵元と組み之れを破りしも、淵元居なく、小森と組み敵に名をなさしむ。

本校(木村) 9-7 長農 No.2
植田
敵の捨身に會ひ、意外にも最初5-2とリードされ、危懼の念を懐かしめしも良く挽回して9-7の接戦にて辛勝す。
(單) 馬場 6-3 谷(八商)
木村 6-2 西川(長農)
馬場大いに自信を持ち、悠々勝つ。
馬場と同様に木村も自信有りて悠々勝つ。
準優勝戦

(復) 木村 2-6 栗農 No.1
植田
雨天の爲か、非常に調子悪く、終始凡失を重ねて確實と思へしダブルス優勝も、無念栗農に再び敗られたり。實に残念なり。
(單) 馬場 3-6 増田(栗農)
確實に勝つと思へしに意外、雨に祟られネット多く、最初より5-1と大きく差をつけられ後、二ゲームをかへすも挽回し得ず遂に退く。

(八月一日)
全日本シニア1庭球大會出場之記
第一回戦(單は不戦勝)

(復) 木村 6-2 6-4 6-0 (明倫中)
植田
第一セットに於ては凡失多く、敵の好プレーに2-6にて先取せらる。第二セットに入るや、漸次調子を回復し、加ふるに先輩木村氏の策戦に依り、大接戦の後、遂にセットオールミス。第三セットに入るや敵は、次第に混乱し始め萎縮して、凡失を重ねし爲に遂に6-0にて勝つ事を得たり。
第二回戦

(單) 植田 1-0 6-6 高橋(八商)
馬場
敵は前年度濱寺大會に於て準備に進みし者にして、今年に於ては既に高専大會に選手として大いに活躍せし者なり。されど植田玉碎的にぶつかり恥しからぬ試合をなせり。
試合順序を急に變更されし爲に思はざる時に試合をされ、馬場氣乗りせず、伍角の實力にも係らず惨敗す。
木村 5-2 7-6 中條(愛一中)

木村 6-4 青山(栗農)
木村出足悪く最初4-1とリードされしも、木村獨特のネバリを持つて6-4に辛勝す。
降雨此の頃より益々激しく優勝戦の延期止むなきに至り、二十三日、一時より改めて行はる。
優勝戦

木村 6-3 3 増田(栗農)
絶好のコンディションに恵まれ、木村非常に良くあたる。試合は双方自重してネバリ、一セットを木村先取す。第二セットに入るや木村幾分スピードを加へ敵を左右に走らせ軽く之れを敗りて優勝す。
ダブルスに於ては栗農優勝せり。

(十月十七日)
近府縣中等學校庭球大會(高商コート)
縣下大會に自信を得た我等は、近府縣に於ても優勝せんものとベストメンバーを以つて出場せり。
第一回戦 二組共に不戦勝
第二回戦
本校(馬場) 6-1 扇町商業

二人共に元氣よく最初一ゲームを許せしのみにて簡単に勝つ。

本校 (穂田) 0—6 京一商
二人共に終始凡失を重ね元氣なく敗退す。
第三回戦

馬場 1—6 關西甲種商業
午前中の如き調子も出ず、凡失多く期待に反してあつげなく敗れたり。

斯くして一年間の全試合を終つた。願るに縣下大會に於てシングルに優勝したのみで、他の試合は何れも餘り香しくはない。然し、此れは試合数の少い爲に、試合馴れがして居なかつた爲で、決して技術の劣れる爲ではない。否技術に於ては非常に優れて居ると思ふ來年度に於てはより多くの試合に出場し、立派な成績を挙げられん事を望む。首將として此の一年間何等部に利する事無く、去らればならぬ事を誠に遺憾に思ふ。此の上は後輩諸君の努力せられん事を隆ながら祈るものである。(馬場)

◎競技部部報

靈峰伊吹も漸く白衣を脱し、花咲き蝶舞ふ春、金龜城下にも活動の春は訪れぬ。名選手たりし多數諸先輩を送り出せし、我等競技部は直ちに前途有望なる諸新人の入部によりて陣營を整へ、丸茂先生の熱誠なる御指導の下に皆仲よく毎日愉快に練習を始めたり。競技部員左の如し。

部長 丸茂 先生
理事 居井 先生
部員 小松原先生

五年 松林 時雄 三上 一雄
川島 隆夫 藤谷 賢雄
中原 武夫 吉田 民造
毛利勲太郎 堀居賢次郎
久野 娥
四年 田口 四郎 山口彌三郎
大橋壽貞雄 久納 明
三年 三谷 信照 寺村 三郎
岡田 重雄 小倉 源藏
野村 實 葛 滋郎
二年 村岸 眞 横田 彰
山田 文夫 清水 正男

川添 敬一 北澤 信孝
山村 文男 柴田 一男
五十嵐精一 大久保澄海
一年 木下 勉三 有川 英治
染川 人仁 小森 武彦
塚本 一雄 寺田 慶造
西村 與一 佃 次郎
澤田 久雄 關根 良弘

湖東大會出場之記

花散り、春逝き新緑いよ／＼濃さを増しし時は好し六月二十一日待ちし本年度最初の大會の日は訪れた。この日天気快晴、絶好の運動日和と吾等の前途を祝福してくるかの様で皆の者は元氣一杯、午前八時八日市中學校校庭に熱揃ひした。本年度から、新たに彦根工業學校もこの大會に参加し、大會もだん／＼と盛大ならんとしてゐる。選手一同は今日こそはの意氣に燃えてゐた。大會の幕は八時半を以て下ろされた。

百米豫選(A組)松林
力走したが、かひなく涙を呑みて退く。
(B組)久野(タイム十二秒)
練習不足ながら悠々一着にて豫選をパス

す。

二百米豫選(B組)久野(タイム
疲労も物かは、よく頑張りて一着となる
然るにフライングによりオミットされ
非常に落膽せり。

四百米豫選
部員に缺席者ありて不出場の止むなきに
終る。

千五百米決勝 川島、藤谷
初陣ながら藤谷よく走り川島と共に一、
二着にならんものさ前半力をセーブし三
四位を走り居りしが、ラスト他の一二着
に及ばず四・五着にて止む。(得点五点)
八百米決勝 川島、藤谷
藤谷、川島元氣よく走りしが千五百米の
疲労如何ともするあたはず七・九着とな
る。

一萬米決勝 津田、新田
津田練習不足ながら、最初よりトップを
走りしが、後半や、疲れ歩くこと二度の
後元氣再び出で快走して、だん／＼と一
位に迫りしが三着にてゴールに入る。新
田三年ながら皆についてよく走りしが、
後の者が徐々に萎縮するのに氣を落して

か中途で止む。(得点四点)

走高跳決勝 田口、三谷
田口よく跳びて二等となり、三谷三年な
がら奮闘の効あつて六等となる。(得点
五・五点)

走幅跳決勝 田口、三谷
田口調子よく三等となり、三谷頑張りし
も惜しく等外となる。(得点四点)

棒高跳決勝 吉田、毛利
兩人共通記録出す等外となる。
三段跳決勝 三上、中原
練習の記録出ざりしが三・五等となる。
(得点六点)
砲丸投決勝 堀居、宮川
共に練習不足ながらよく投げ五・六等と
なる。(得点三点)
圓盤投決勝 松林、岡田
岡田缺席したので非常に惜しく思はる、
松林頑張りしも七等になりしのみ。

槍投決勝 居、山口
堀居調子頗るよく練習記録より遙かに多
く投げ四等となるのみ。(得点三点)
八百米リレー決勝 松林、照山、中原、久野
松林スタートよく二位にて照山に繼ぐ照

由四位となり、中原三位を抜いたがと思
はれたが、久野そのまゝ、四着にてゴール
に入る。(得点三点)

一着 八幡商業 二着 八日市中學
三着 彦根商業 四着 本 校
五着 長濱商業 六着 彦根工業
七着 神崎商業

百米決勝 久野
二百米豫選の疲労回復せざりしが、二百
米失格に對する憤起物凄く頑張り頑張
りて四着となる。(得点三点)
あ、戦の幕は閉ぢられた、再度八幡商業に
覇權を譲らねばならない様になつた。しかも
本校は彦根商業學校、八日市中學校にも敗け
た。情ない戦績である。許せよ諸君達、母校
の意氣を擧げ得ず、しかも諸君等の想ひも寄
らない敗慘を!!。

彦根商業對抗定期戦之記

二百米に久野、中島を破つての一着となり
しは賞讃の價値十分有り。
四百米に中原頑張り一着になりしは見上げ
たものだ。
八百米に縣下の強豪中島を破りて一着にな

りしは川島の殊勳として賞美する事が出来る
一 萬米に山田二年であるが三着になりしは
非常なる功績である。
砲丸に岡田二番なりしは三年としては好成
績なり。

圓盤投で岡田悠々一番なりしは賞讃する
に充分である。
棒高跳に五十嵐二年で五番は好成绩、吉田
一番は順當。
走高跳田口の二番三谷の三番は戦功に價す
る。

三段跳に小倉は三年生でしかも初出場なり
しが二番となりしは大へんな殊勳であつた。
(六番まで入賞)
かくして本校一三二点、彦商一七七点で湖
東大會の敗北を晴して一同は大へん氣をよ
した。

二部は百米に一二三着、二百米に一二三着
八百米に一三四着、リレーは一着(約五十米
程離して)砲丸は一二等、走高跳に一二三等
走幅跳に一三四等となりて大勝す。

彦根工業と對抗試合の記

百米久野一着、松林二着、村岸四着になる。

八百米豫選 B組 久納

第一周目悠々ミトップを切つて走り入選す
るかと思はれしが第二周目より急に疲れ途
に落選す。(彼は轉校間もなく病氣となり
回復後練習も未だ充分成し得ず、自分の實
力を最後まで出し得なかつたのである。)

C組 藤谷

初め力をモチテ走りしが足の痛みが原因
して彼特有の頑張り出す、胸一つの差で惜
くも落選す。

二百米豫選 A組 久野

百米の惨敗暗らさんものさ元氣一ぱい走り
しが精力續かず、ラストで抜かれ又もや三
着にて落つ。

D組 寺村

昨年は好調なりしが今年病後の爲め練習
不足により、實力發揮出来ず惜敗す。

二百米豫選(第二部) A組 野村

本日調子悪く優勝し得る實力を持ちながら
胸一つの差で惜くも三着となり再び退く、
同情せざるを得ぬ。

D組 村岸

百米に除外されし無念を晴らさんものさ意
氣物凄く、スタートや、後れしが見るく

二百米久野一着、松林二着、吉田四着なり。
四百米中原二着、毛利三着。

八百米藤谷二着、川島三着。
千五百米には川島一着、藤谷二着となる。

一 萬米山田一着、山口三着、新田四着。
砲丸堀居二位、岡田三位、中原四位なり。

圓盤岡田二位、松林第四位。
棒高跳は彦工棄權、走高跳田口二位、三谷三
位、大橋四位。

走高跳彦工跳びしが本校堂々一二三位。
槍投堀居一位、毛利二位、山口五位。三段跳
彦工棄權

リレー一着
五十六点と二十五点にて本校大勝す(三番ま
で入賞)

二部は
百米に一二三着 二百米一二三着 八百米一
二三着 八百リレー一着 砲丸一二三位 走
高跳二三四位 走幅跳一二三位(三番まで入
賞)

結局三五五でこれも大勝する。

縣下男子中等學校陸上

競技大會出場之記

他を抜き二着にてパスす。

圓盤投決勝 松林、岡田

松林専門的によく練習せし効なり堂々四位
に入賞、岡田三年の若冠ながら奮闘よく頑
張り、三位に入賞。兩名共に實力を十二分
に發揮し七点の大量得点す。(得点七点)

走幅跳決勝 田口、三位

田口一度跳びしが脚氣の爲想ふ様に脚あが
らず、後棄權す。三谷三年ながら頑張りし
が及ばず等外となる。

八百米豫選(第二部) B組 山田

調子よく一周目よりぐんぐん、他を引き離し
實力を十二分に發揮し、悠々一着でパスす
タイム二分三十二秒

C組 塚本

一年でありながら初より他をリードし、二
着にて樂々パス。

四百米豫選 B組 藤谷

八百米の疲れ回復せず、元氣一ぱい走りし
がラスト少しの頑張りで入賞出来る處を途
に及ばず。

C組 久納

意氣物凄く走りしが、ラストに練習不足表
れ落選す。

秋空澄み切つた絶好の競技日和にめぐまれ
た十月四日我等競技部は本年度最後の、しか
も目的として練習に勵んで来た試合の當日は
遂に來た。選手一同は張り切つて誰の顔にも
何か心に響ふ色が見える。再覇を目指す二部
今度は一部も意氣いやが上にも上がる。

百米豫選 A組 久野

練習不足が原因して、實力はありながら師
範彦商に一、二位を取られ豫選に落ち、口
惜しさのあまり、二百米にこそはミ力む。

D組 松林

圓盤投げを専門的に練習してゐたので、實
力出す等外となる。

棒高跳 吉田、岡田

兩名共に記録出す、吉田八位にて涙を呑み
て退く。

百米豫選(第二部) B組 村岸

意氣に溢れてあまりにも緊張してゐたであ
らうか、スタートを慌て、除外され、非常
に落膽した。

C組 野村

全然自己の記録出す、村岸の分も頑張り
しも豫選パスせず、兩者各々の實力を以て
せば月桂冠不可能ならざりしものを。

千五百米豫選 C組 川島

調子よく、オリンピック村社を思はせる元
氣で最初より出で堂々二着にてパスし、笑
みを浮べての退場、一同を喜ばす。

八百米總走豫選(第二部)

C組 (川添、野村、戸所、村岸)

虎中棄權して大商、八商との三チームで悠
々豫選をパスし得たのに川添スタート稍あ
はて、除外され非常に落膽す。あ、天な
る哉命なる哉、何たる我等の不運よ。我が
チームは普通一分五十二秒内外で走り、先
に行なはれし對彦商戦には堂々縣下タイ記
録まで出せしにして残りの二チーム中大
商一着で一分五十五秒一なり。部員一同が
つかりしたと無言であつた。今や二部の優
勝の可能性を全然失つてしまつたのだ。

走高跳決勝 三谷、田口

田口不出場、三谷孤軍奮闘せしが實力の一
米五十八出す一位が一米六十であつたが入
賞するを得ず、大變口惜しがらる。

砲丸投決勝(第二部) 清水、葛

兩名共に悠々ミ投げ一、二位で入賞偉す
べし。兩名共常に縣下レコードに近い記録
を出してゐたが、風向きが逆で砲丸の形が

變つてゐたので記録作れず、十一米八十種にて止む。

八百米走選 (得点十一點)

〇組 松林、久納、中原、久野

松林スタートよく三位以下を稍離して久納につぐ、久納疲勞未だ回復せず、彦工に抜かれ三位となりしも次者中原よく走り、見る／＼二位になり久野そのまゝ、二位を保ち一位を大敵八商に譲りしも豫選パスす。

一萬米決勝 津田、山原

期待を掛けてゐたが、山原腹具合悪く初津田と共によく走りしが八周にて止む。津田何くそ頑張り最後までベストを盡せしが惜くも八着にて落つ。

槍投決勝 毛利、堀居

堀居平時の調子出づ、等外となり番狂せを演ず、然れども毛利猛練習の効成り堂々ベストに残り、四、五位と少しの差で六位で入賞。記録三十七米九十五。(得点一點)

走幅跳決勝 (第二部) 村岸、川添

兩者共に練習の記録出ず、落選す。

二百米決勝 (第二部) 村岸

八名居り初めよく走りしが百米を専門的に

譽の爲め。「赤鬼健兒の爲。其の光を!!」その意氣を!!四海に擴げんものこ、練習に次ぐ猛練習を續けました。

然るに……
許せ!!赤鬼七百の健兒!!! 此の思はざりし戦績を引取れ歸る金龜城下!!! 我等の胸中や如何!!! 無念の涙あるのみ。
そして今や懐しき母校と諸君と別れなくてはなりません。此の無念を晴すことなく。

請ふ!!! 四年以下の競技部諸子よ、よく先生、主將の命を守り、我等のながした無念の涙を歡喜の涙に變へられんことを!! 最後に部員外の諸君も奮つて各部に入り勉強のみならず、運動に於ても天下の一中を、今年五十周年を迎へる彦中を、四海に輝かせれんことを希望して止みません。

水泳部々報

近府縣中等學校競泳大會

彦根高商主催

我等は四月以來の練習と、意氣と、熱とを以て本大會に出場しました。然しながら我等

し、二百米の練習怠りしが悪くラント効かず六着にて止む。(得点一點)

八百米決勝 (第二部) 山田、塚本

兩者共に調子よく練習の効成り、自己の最高記録を出して山田二着、塚本六着になり入賞す。(得点六點)

三段跳決勝 中原、小倉

小倉三年の若冠ながら實によく飛び第五位(記録十一米八十)。にて堂々入賞せり。偉ますべし。中原脚痛めども元氣にまかせて飛びしが思ふ様に跳べず、三度目死を嗜す如き意氣にて跳びしが、手を後につきしため十一米五十六にて落選す。(得点二點)
(三段のホープ三上の脚氣による不出場は得点を失つたことになり非常に残念であつた)

走高跳決勝 (第二部) 大久保、塚本

大久保よく奮闘して五位となる。塚本八八米の疲れも物かは頑張りしが惜くも等外となる。(得点二點)

千五百米決勝 川島

最初より好調の浪に乗つてぐん／＼出で二位を走り居りしが二周、三周なるに及んで増々調子出で優勝するかと思はれしが

の努力の甲斐もなく惨敗の止むなきに至りました。毎年敗れる此の大會、恨み深き此の大會考へて見るに我等の努力がまだ足りないのがある。我等一同は誓ひました。我等は尙ほ一層練習に練習を重ねて必ずや近き將來に於て、あの優勝の榮冠を獲得する事を。わがくば諸君よ、此の我等の恨み深き惨敗を許されて、來るべき年に活躍する我等の意氣を期待せられよ。

湖東大會出場之記

此の日我等は優勝を目指して少壯選手、豆戦闘艦の意氣はいやが上にも揚る。天候良好コンディション甚だ良し。参加校、本校、彦商、長商、八商、八中の五校。

八百米自由型

1 山原(本校)

至寶山原始めより斷然他を壓し、快勝。

二百米平泳

1 内山(本校) タイム三分十八秒

2 渡邊(彦商)

内山、渡邊と接戦せしが樂々と一着。遂に我等は彦商の軍門に降らなくてはならなかつた。實に残念であつた。當日御聲援下

練習不足がラストに表はれ、最後の二百米で力つき五着となる。彼が常から猛練習をして居たならば恐らく一着に成れたであらう我々實力に於ては他校に優ることも、劣ることは斷してないのだ。(得点二點)

八百米走決勝 (松林、久納、中原、久野)

松林スタートよく五位にて久納に繼ぐ、然しパドンタツチ稍悪く六位になり、中原、久野そのまゝ、六着にて止む。(得点一點)
時將に三時半、我等の闘ひは萬事休した。總得点に於ては何んぞ云ふ慘憺たる敗北か。諸君達、彦中生代表として縣下一中の名譽を擧げ得なかつた事を一同は深く心に恥ぢるのである。實力は持ちながら練習が他校に及ばなかつたのだ。之れを以て今後の何よりの戒めとして大いに練習を日頃から成すことを一同は堅く誓つた。(三上記)

闘ひ終りて

第五學年 中原 武夫

闘ひ終りて萬事休す。回顧すれば希望胸に燃ゆる陽春以來、丸茂先生の献身的御指導の下に炎熱焼きつくグラウンドに、唯「彦中の名

さつた方々に厚く御禮申し上げると共に諸君の御期待にそふことの出来なかつた事を切に謝する次第であります。

縣下中等學校水泳大會 參加之記

滋賀縣体育協會主催

會場栗太農學校五十米プール、七月二十六日。我等は力泳又力泳せしも、然し我等の努力は報いられず決勝に残りしもの僅かに四種目のみ。

八百米自由型決勝

1 馬場(栗農) 十一分四十七秒

2 山原(本校) 十二分二十九秒六

3 正田(彦商) 十三分四秒四

四百米自由型決勝

豫戦に他を斷然引きはなした朝見、倉橋兩君スタートよりラストまで終始ベストをつくせしも五着、六着にて終る。得点三點。

八百米リレー決勝

1 栗農チーム

本校五位にて止む。得点二點。

三百米メドレーリレー

全員最後まで頑張りしも六着にて止む。得点

一点、總計十一人、滋賀縣下八位の不成績に涙を吞んで退場した。あ、今年も栗農に覇權を握られた。實に残念だつた。八月に入るや琵琶湖に於て猛練習をなし、而して来るべき九月の大會目指して頑張りました。

四校對抗試合成績

我等は今日までの不成績を深く顧りみて、そして練習に、練習を重ねて努力して來ました。我等は本年度最後の試合に於て前の恥辱をばらさんとして破竹の意氣と勢を以て九月二十日四校(本校、水中、八商、八中)對抗試合をなさんとして縣下の強豪八中に遠征せり。

- 二百米リレーを以て試合は開始された。
- 二百米リレー
- 1 八商チーム 二分八秒四
 - 2 彦中チーム 西村、朝見、山原、倉橋 二分十秒三
 - 3 水中チーム
 - 4 八中チーム
 - 八百米自由型
 - 1 高田(八商) タイム十二分十五秒九
 - 2 倉橋(本校) 十二分五十四秒五

- 3 川島(八中) 十三分四十五秒五
 - 4 朝見(本校)
 - 5 小野(八中)
 - 6 中居(水中)
 - 7 谷(八商)
 - 8 石岡(水中)
- 高田始めより出で倉橋、川島、朝見これに次ぐ、倉橋よく頑張つて二着に入る。朝見元氣なく四着にて止む。
- 二百米平泳
- 1 内山(本校) 三分十五秒二
 - 2 田村(水中) 三分二十秒二
 - 3 戸所(本校) 三分二十秒三
 - 4 深屋(八中)
 - 5 山田(水中)

田村百米までトップなりしが内山、戸所の追撃物凄く、大接戦を演じ結局内山、田村を五米引離してゴールに入る。續いて田村、戸所僅かの差でゴールイン。

- 二百米自由型
- 1 上村(水中) 二分三十三秒六
 - 2 山原(本校) 二分三十三秒九
 - 3 廣道(八中)
 - 4 西村(本校)

上村、山原始めより大接戦をなし、山原惜しくも敗ける。西村ラストパートに入りてより猛烈なるピッチなりしが四着にて終る。

- 百米背泳
- 1 藤本(本校) 一分二十七秒三
 - 2 吉川(水中) 一分三十七秒
 - 3 角(水中)
 - 4 西村(八中)
 - 5 西村(八商)
 - 6 新田(本校)

藤本スタートより斷然トップ他の追従をゆるさず新進新田初めての出場なれど好調なり

- 四百米自由型
- 1 山原(本校) 五分三十八秒六
 - 2 高田(八商) 五分五十八秒八
 - 3 倉橋(本校)
 - 4 大西(八中)
 - 5 星野(八中)
 - 6 木下(水中)
- 山原終始他を壓し見事一着。倉橋善戦して三着。
- 百米自由型
- 1 上村(水中) 一分八秒五
 - 2 廣道(八商) 一分十二秒六

- 3 朝見(本校)
 - 4 中野(八商)
 - 5 西村(本校)
 - 6 島村(八中)
- 朝見、上村、廣道の強豪に破られて三位、西村頑張りしも力つきて五位にて止む。

- 三百米混合泳
- 1 彦中チーム(藤本、内山、山原) タイム四分十秒三
 - 2 水中チーム 四分十九秒六
 - 3 八中チーム
 - 4 八商チーム
- トップ藤本一位にて流れこみ、續く内山力泳して二位との差六米、山原頑張り物凄く二位との差十米を以て大勝せり。
- 八百米リレー
- 1 彦中チーム(朝見、西村、倉橋、山原) タイム十一分十六秒七
 - 2 八商チーム 十一分五十二秒五
 - 3 八中チーム
 - 4 水中チーム

最後の競泳であるから一同緊張す。トップ朝見スタートするやスタートダッシュ猛烈にピッチを上げ二位を六米離して西村に次ぐ、

西村懸命の力泳又力泳その差をさらに十五米のばして倉橋に次ぐ。倉橋よく頑張つてその差を三十米にする。そして山原に次ぐ、山原ぐんぐんのびて遂に四十四米に引離してゴールイン。我等は思はず萬歳を叫んだ。我等の大勝利に歸したのだ。

此の大勝利を以て本年度シーズンを終る。

後記

我が部は往年の黄金時代を逃して以來、一向振はない彦中水泳部だつた、然しながら我々は再び黄金時代の健全なる樹立を計り部員の増員に、練習に未來の希望を描いて邁進しつつあるのです。然るに唯一つ悲しい事がある。之は部員不足だ。諸君よ、日本の國技は競泳だ。あのオリンピックを見よ。祖國日本の誇を負うて萬丈の氣を吐いてゐるではないか。願はくば諸君よ、入部せられん事を在校生諸君に、任ぜらるゝがまゝに主將の重席につき、その大任を果す事が出来なかつた事を残念に思つてゐます。諸君、今年の不成績を許されんことを望みます。水泳部部員諸君よ、よく主將の命令に従ひて尙ほ一層奮勵努力せられんことを切に希望する。

(吉川記)

得点及順位

種目 學校名	項目								合計	順位	
	二百米 自由泳	二百米 自由型	二百米 平泳	二百米 自由型	四百米 自由型	四百米 自由型	三百米 混合泳	八百米 自由泳			
彦根中學	5	8	10	7	7	10	6	6	6	65	1
水口中學	4	1	7	6	9	1	6	5	3	42	2
八幡商業	6	6	2	4	2	4	8	3	4	39	3
八日市中學	3	6	4	4	3	5	1	4	4	34	4



雜錄

學校日誌抄 (昭和十一年)

- | | | | |
|-----|---|-----|--------------|
| 一 | 日 | (水) | 新年拜賀式 |
| 八 | 日 | (水) | 第三學期始業式 |
| 九 | 日 | (木) | 數學科模擬試驗 |
| 十 | 日 | (金) | 武道寒稽古開始 |
| 十一 | 日 | (土) | 國漢科模擬試驗 |
| 十八 | 日 | (土) | 英語科模擬試驗 |
| 三十一 | 日 | (金) | 山口縣學事視察團來校 |
| | | | 武道寒稽古終了・武道大會 |
| | | | 第二學年野外演習 |
-
- | | | | |
|-----|---|-----|-----------------------|
| 二 | 月 | | |
| 三 | 月 | | |
| 二 | 日 | (月) | 第三學年父兄會 |
| 六 | 日 | (金) | 水口中學上野教諭英語科ニツキ視察 |
| 七 | 日 | (土) | 卒業生豫餞會 |
| 十 | 日 | (火) | 第三、四學年野外演習 |
| 十一 | 日 | (火) | 紀元節拜賀式 |
| 十二 | 日 | (水) | 第三學年第二回父兄會 |
| 十三 | 日 | (木) | 日野高女鳥越教諭地理科視察 |
| 十五 | 日 | (土) | 中等學校連絡會 |
| 十七 | 日 | (月) | 第五學年學期末考查開始 |
| 十九 | 日 | (水) | 伊丹中學校廣安教諭理科ノ設備視察ノタメ來校 |
| 二十一 | 日 | (金) | 第五學年學期末考查終了、校旗ニ對スル告別式 |
| 二十六 | 日 | (水) | 卒業生御座所拜觀 |
| | | | 武生中學校教諭公民・商業科ニツキ視察 |
| 三 | 月 | | |
| 二 | 日 | (月) | 第四學年學期末考查開始 |
| 六 | 日 | (金) | 第四學年學期末考查終了、第四學年終業式 |
| 七 | 日 | (土) | 第四十八回卒業式 |
| 十 | 日 | (火) | 陸軍記念日ニツキ川崎少佐講話 |
| 十二 | 日 | (木) | 第一、二、三學年學期末考查開始 |
| 十四 | 日 | (土) | 京都市立繪書專門學校糟谷教授視察 |
| 十七 | 日 | (火) | 第一、三學年學期末考查終了、終業式 |
| 二十六 | 日 | (木) | 入學考查 |
| 二十七 | 日 | (金) | 入學考查 |
| 二十八 | 日 | (土) | 入學許可者發表 |

- | | | | |
|-----|---|-----|----------------|
| 四 | 月 | | |
| 八 | 日 | (水) | 始業式、入學式 |
| 九 | 日 | (木) | 第二學年以上ノ正副組長任命式 |
| 十五 | 日 | (水) | 第四、五學年身體檢查 |
| 十六 | 日 | (木) | 第二、三學年身體檢查 |
| 十七 | 日 | (金) | 橋本先生告別式(藤樹高女) |
| 十八 | 日 | (土) | 一年國語實力考查 |
| 二十 | 日 | (月) | 一年算術實力考查 |
| 二十二 | 日 | (水) | 宮原先生ノ告別式(天理二中) |
| 二十七 | 日 | (月) | 第五學年父兄會 |
| 二十八 | 日 | (火) | 第二學年野外演習 |
| 二十九 | 日 | (水) | 天長節拜賀式 |
| 三十 | 日 | (木) | 第三學年野外演習 |
| 五 | 月 | | |
| 一 | 日 | (金) | 創立記念日、端艇大會 |
| 四 | 日 | (月) | 第四學年修學旅行出發 |
| 六 | 日 | (水) | 全校行軍(多賀神社參拜) |
| 七 | 日 | (木) | 映畫會 |
| 八 | 日 | (金) | 第一學年野外演習 |
| 九 | 日 | (土) | 招魂社參拜 |
| 十二 | 日 | (火) | 第一學年課外運動實施 |
| 十五 | 日 | (金) | 彦根高商英語巡回講演 |
| 二十二 | 日 | (金) | 中間考查開始 |
| 二十五 | 日 | (月) | 二見知事來校視察 |
-
- | | | | |
|-----|---|-----|----------------------|
| 六 | 日 | (月) | 學期末考查開始 |
| 七 | 月 | | |
| 一 | 日 | (月) | 更衣 |
| 三 | 日 | (水) | 田中書記新任式 |
| 四 | 日 | (金) | 長濱商業森、八田教諭視察 |
| 九 | 日 | (火) | 御親閱記念開團分列式 |
| 十 | 日 | (水) | ピアノ披露音樂會 徳山蓮氏ノ特別出演アリ |
| 十二 | 日 | (金) | 時ノ記念日 |
| 十三 | 日 | (土) | 第一學年野外演習 |
| 十五 | 日 | (月) | 國漢科模擬試驗 |
| 十六 | 日 | (火) | 防空警備演習 |
| 十八 | 日 | (木) | 金盛先生新任式 |
| 二十三 | 日 | (火) | 數學科模擬試驗 |
| 二十六 | 日 | (金) | 英語科模擬試驗 |
| 三十 | 日 | (火) | 第五學年野外演習 |
| 六 | 日 | (月) | 第四學年野外演習 |
| | | | 堤先生新任式 |
| | | | 學校經營研究會 |

十日(金) 學期末考查終了
 十一日(土) 水泳練習開始
 縮短授業
 十六日(木) 第五學年實包射擊
 二十二日(水) 水泳練習終了
 二十三日(木) 閉關分列式 終業式
 九月
 一日(火) 始業式
 二日(水) 縮短授業開始
 五日(土) 縮短授業復舊
 國漢科實力考查
 七日(月) 英語科實力考查
 八日(火) 數學科實力考查
 第一學年課外運動開始
 九日(水) 第五學年兵營宿泊(歩兵第九聯隊)
 十日(木) 第一學年父兄會
 十一日(金) 非常警備演習
 十五日(火) 滿洲事變記念日、閉關分列式、川崎少佐講演
 十八日(金) 第三學年野外教練
 二十四日(木) 映畫會
 二十五日(金) 第四學年父兄會
 二十八日(月) 第四學年野外演習

十日(金) 招魂社參拜
 十一日(日) 陸上大運動會
 十三日(火) 縣下中等學校聯合演習參加
 十四日(水) 神宮遙拜
 十六日(金) 教練查閱
 二十二日(木) 中間考查開始
 二十四日(土) 中間考查終了
 二十八日(金) 教育勸語奉讀式
 三十日(金) 十一月
 一日(日) 菊分賣
 三日(火) 明治節拜賀式、閉關分列式、長距離競走
 九日(月) 第二學年野外演習
 十日(火) 平知事、伊倉視學官來校視察
 第一學年野外演習
 十三日(金) 行幸記念日 武道大會
 二十四日(火) 故陸軍歩兵中佐竹内章雄氏(前配屬將校)ノ村葬
 二十五日(水) 英語模擬試驗
 二十六日(木) 數學同 右
 二十七日(金) 國漢同 右
 十一月
 一日(火) 第五學年實包射擊
 映畫會

校友會役員

四日(金) 第四學年野外演習
 八日(火) 第三學年野外教練
 十五日(火) 學期末考查開始
 十九日(土) 學期末考查終了
 二十三日(水) 皇太子殿下御三回ノ御誕辰ヲ御迎ヘ遊サル
 二十四日(木) 閉關分列、終業式

會 長 足立芳之助先生
 副會長 松田彦三郎先生
 學藝部
 部長 寺本先生
 理事 居井先生
 委員(五年) 門野美喜藏
 (四年) 中川敬一郎
 (三年) 横田不二夫
 雜部
 部長 尾田先生
 理事 平井先生
 委員(五年) 長谷川千勝
 (四年) 松本顯美
 (四年) 山川繁
 渡邊先生
 藤居佐一郎
 北村忠夫
 中川義朗
 千原先生
 有川正康
 青山正彦
 青木二郎
 青木藤一

圖書部
 部長 平井先生
 理事 今野先生
 委員(五年) 森田先生
 (四年) 原田修一
 (三年) 滿島俊次
 村上信太郎
 渡邊哲郎
 島倉昌一
 杉原眞一
 西山子得
 谷口勉
 五味先生
 小林研一
 田村豊治
 横田繁勝
 高田善之助
 益田豊
 内田先生
 佐久間宮雄
 石田康祐
 福原快稔
 寶意敬三
 薄木先生
 漢正印
 堤先生
 村山先生
 島本光高
 望月實
 丸野房松
 中川禮三
 柴田善守
 原田先生
 金盛先生
 越武和
 堤先生
 村山先生
 島本光高
 望月實
 丸野房松
 中川禮三
 柴田善守
 原田先生
 金盛先生
 越武和

校友會會計

昭和十一年度校友會豫算

收入概算	前年度繰越	職員會費	生徒會費	生徒入會費	利計	支出概算
二二二・一一	一六二・八〇	四、五五四・〇〇	三一〇・〇〇	一八・〇〇	一一五・〇〇	學藝部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	二七二・〇〇	圖書部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三二七・〇〇	雜誌部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	四〇七・〇〇	武道部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	六〇〇・〇〇	艇道部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	七六六・〇〇	野球部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三三一・〇〇	技球部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	二四九・〇〇	水泳部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一六三・〇〇	衛生部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇・〇〇	藝術部
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	賞品費
二〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	五、一六六・九一	計

卒業式費並豫備會費	陸上大會費	行軍費	道具費	運動場修理費	課外運動費	雜備費	豫備費	五十周年記念式費	特別會計	端艇新造費	五十周年記念式費	
二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇	三五・〇〇	一〇〇・〇〇	二五〇・〇〇	一〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	三七一・九一	一〇〇・〇〇	五、一六六・九一	二七二・六七	六二九・三五	九〇二・〇二

剛健自助の門によりて
湖畔のまもり嚴かに
たてる金籠の學びやの
あはほまれある幾春秋

園庭球部	園野球部	園水泳部
委員長 丸茂先生	委員長 猿山先生	委員長 白井先生
理事 居井先生	理事 柏島先生	理事 後藤先生
員(五年) 松林時雄	員(五年) 安居憲三	員(五年) 吉川長平
員(四年) 小林隆	員(四年) 大日方正明	員(四年) 山原忠雄
員(三年) 川島隆夫	員(三年) 細川常雄	員(三年) 片岡鐵男
小松原先生	上杉英造	宮西正一
三上一雄	大森圭造	朝見伸夫
堤喜憲	上杉英造	渡邊先生
穂田喜穂	上杉英造	田口四郎
廣野寛	上杉英造	岡田正雄
窓岡秀道	上杉英造	田口四郎

不撓の決意と力行の
わかき生命にまもられて
幸とほまれに美はしく
われらが園はかがやけり

(編)(輯)(後)(記)

冷たい北風が窓の隙間から吹き込んで来る硝子越しの午後の弱い光線が床に影を落してゐる。戸外の荒涼たる冬枯れの景色から一度眼を轉ずると、何と室内の光景の活氣に満ちたことだらう。

雑然と積まれた原稿の束を片端から整理する者。

馴れない校正のペンを握る者。

かくてやうやく校友會誌第四十六號を諸君の手許に送る。

數度の編輯會議の末、やうやく我等雜誌部同人十二名の努力の實を結んだのがこの會誌である。

願ひて自分が非才を以て榮ある雜誌部委員の末席を汚すこと早や三年。「今年、こゝは」の意氣込もその甲斐無く、何等爲す所無きを今更の如く恥ぢ、且つ謝する次第である。

諸君の網膜上に本誌が映出されるのは、春尙淺い如月十一日、紀元の佳節の豫定である

多分諸君は本誌の中で、自己の作品其の他に於いて幾多の不滿の点を發見せられるであらう。併しこの原稿は諸君が少なうとも二箇月以前に書かれた物である限りその不滿はその刻一刻進歩して止まなかつた向上のシンボルであらう。

本誌には校長先生の巻頭言を始めとし、川崎先生、丸茂先生、森田先生、杉原先生の玉稿を頂くことの出來たのを厚く御禮申し上げます。そして例年になく多數の諸君の力作を待つたにも拘らず、紙面の都合上長編の研究及一部の作品を割愛するの止む無きに至つたことを深く御詫が致します。

地味な、平凡な、そして巻頭の校訓にある「實實剛健」そのもの、如き會誌。この單調を破るものとして、是非諸君に一讀を願ひたいのは、卒業生諸君から戴いたく上級學校だよりであり才語録である。この小さき企てが些少なりとも諸君に益する所があつたならば、我等編輯員一同の幸福之に過ぐるはない。

御覽の通りに、野球部の部報がミビ離れて膨大である。原稿用紙に約百枚、我等一同の眼を見はらせたものであつた。

だが、諸君、一寸眼を閉じて十一年度に於ける野球部の活躍の跡を、我が彦中の勇名を全國に轟かせた戦績を回想して下さい。我等は更に、野球部の發展を祈らうではありませんか。

本校はこの四月から一學年四クラス定員一千名の大世帯になります。來る五月一日は創立五十周年を迎へて、今からその盛大さを豫想してゐます。我が雜誌部も特別號を以てこれ等の記録を出したいと思ふ。

我等五年生一同はこの赫々たる歴史を誇りたる滋賀一中の五十周年をまたす自國南の鷗翼を揚げようとしてゐるのです。さらば!!!光榮ある大本營跡よ、校庭に聳ゆる銀杏の木よ、花を待たずに去る櫻よ。最後に親愛なる諸先生及在校生諸君の御多幸を祈る。

二月一日
青山正彦

豫告ご御願

吾等はいよいよ來る五月一日を以て本校創立五十周年を迎へることになりました。この、目出度い日の盛儀を永久に記念するために、本誌は、今秋「特別號」を發行して皆さまにお目にかゝる豫定になつてゐます。刮目してお待ち下さい。就いては右に因める文章詩歌俳句の御投稿をお待ち致してゐますから、今から御準備下さつて七月末締切迄に奮つて、御應募下さる様お願い致します。

校友會 雜誌部

明治廿七年五月三十日内務省認可
昭和十二年二月八日印刷
昭和十二年二月十一日發行 (非賣品)

編輯兼 滋賀縣立彦根中學校内
發行所 尾田鶴治郎

印刷者 滋賀縣彦根五番町三ノ一
村下斯朗

印刷所 滋賀縣彦根五番町三ノ一
村下印刷所

發行所 滋賀縣立彦根中學校 校友會

